

## 2024年4月新聞書評に掲載された本



### 文章は「形」から読む～ことばの魔術と出会うために～(集英社新書 1205)

阿部 公彦 著

集英社

契約書の宣言調、箇条書きの役所の文書…。なぜそのように書くのか？文章を読む際に大事なことばの「形」を見極める方法を幅広い実例を用いて指南する画期的な日本語読本。練習問題付き。『kotoba』連載を加筆修正。

産経新聞 2024/04/07

2024:3./ 305p  
978-4-08-721305-8

¥1,144〔税込〕



9 784087 213058



### 生きる演技

町屋 良平 著

河出書房新社

元天才子役・生崎と、炎上系俳優・笹岡。性格は真逆だが、同じように親を憎み、家族を呪い、「家族を大事に」というこの国が許せない。高校の文化祭で戦争の惨劇を演じたふたりは…。『文藝』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/04/07

2024:3./ 357p  
978-4-309-03177-4

¥2,475〔税込〕



9 784309 031774



### 夏目家のそれから

半藤 末利子 著

PHP研究所

漱石亡きあと、遺された夏目家の人々はどう生きたのか。個性豊かな親族たちとのエピソードを、日本近代文学の巨人・夏目漱石の孫にして、作家・半藤一利の妻でもある著者が綴った、滋味あふれるエッセイ集。

産経新聞 2024/04/07

2024:1./ 261p  
978-4-569-85645-2

¥1,870〔税込〕



9 784569 856452



### たまたま、この世界に生まれて～ミラン・クンデラと運命～

須藤輝彦 著

晶文社

「冗談」「存在の耐えられない軽さ」などの作品で知られる中央ヨーロッパが生んだ作家ミラン・クンデラ。偶然と必然の間を揺れ動く人間の運命を見つめ続けた作家の仕事を読み解く本格評論。博士論文を大幅改稿。

産経新聞 2024/04/07

2024:3./ 385p  
978-4-7949-7416-7

¥3,960〔税込〕



9 784794 974167

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2024年4月時点での税込み価格です。



### 弥彦と啄木～日露戦後の日本と二人の青年～

内藤 一成 著  
芙蓉書房出版

明治19年(1886)2月に生まれた三島弥彦と石川啄木。直接の交流はない2人の青年が同じ日同じ東京で何を見たのか？満22歳の日記1年分から興味深い内容や特筆事項を月ごとに摘出し、解説を加えて時代の一端を描く。

産経新聞 2024/04/07

2024:2./ 397p  
978-4-8295-0874-9

¥2,970〔税込〕



### コミティア魂～漫画と同人誌の40年～

ばるばら／あらみけいいち 著  
フィルムアート社

オリジナル作品のみを扱った同人誌即売会コミティアは、どのように生まれ、どこへ向かおうとしているのか？コミティアの歴史を辿る。あらみけいいちの描き下ろし漫画も収録。『ティアズマガジン』掲載を加筆修正。

産経新聞 2024/04/07

2024:3./ 325p  
978-4-8459-2302-1

¥2,200〔税込〕



### 時空に棄てられた女～乱歩と正史の幻影奇譚～

長江 俊和 著  
講談社

首なし死体と生首が次元を揺蕩い、うつし世と夢は混線。ミステリー界の巨人たちが、悩み、もがき、執筆し、謎について語り、あげく事件の泥沼に巻き込まれ…。現実に師弟関係にあった江戸川乱歩と横溝正史が不可能事件に挑む。

産経新聞 2024/04/07、読売新聞 2024/04/28

2024:2./ 242p  
978-4-06-534466-8

¥2,035〔税込〕



### 虎と兎

吉川永青／吉川永青 著  
朝日新聞出版

会津白虎隊でただひとり生き残った少年・三村虎太郎は、新天地アメリカへの移民へ参加した。ある日、虎太郎は行き倒れているシャイアン族の少女を助ける。一族を虐殺された少女はカスター將軍の“ある秘密”を握っていて…。

産経新聞 2024/04/14

2024:3./ 317p  
978-4-02-251894-1

¥2,090〔税込〕



### センスの哲学

千葉 雅也 著  
文藝春秋

センスとは何か、センスの良し悪しとはどういうことか。音楽、絵画、小説、映画など、芸術的諸ジャンルを横断しながら考える「センスの哲学」にして、芸術入門の書。「勉強の哲学」「現代思想入門」に続く哲学三部作の最終作。

産経新聞 2024/04/14

2024:4./ 251p  
978-4-16-391827-3

¥1,760〔税込〕





### 北斎時代の「絵手本」で「絵皿」を解く<花・七福神の巻>

河村 通夫 著  
淡交社

「花」「七福神」をテーマにした江戸時代の絵皿を、同時代に生きた葛飾北斎を中心とした絵師たちの絵手本と比べながら絵解きし、その絵の由来や故事などを解説する。

産経新聞 2024/04/14

2024:3./ 239p  
978-4-473-04576-8

¥2,640〔税込〕



### 人狩人

長崎 尚志 著  
角川春樹事務所

神奈川県警のかつてのエース刑事で、汚職の疑いがある赤堂栄一郎と組むことになった桃井小百合巡査部長。山中で複数の遺体が埋められている場所を発見した2人の捜査はやがて、戦後から続く人狩り集団の存在に辿り着き....

産経新聞 2024/04/14

2024:2./ 438p  
978-4-7584-1456-2

¥2,200〔税込〕



### 日本ワイン産業紀行

叶 芳和 著  
藤原書店

未来の産業社会を先駆けるクリエイティブな仕事として新規参入が相次ぐ日本ワインの今を紹介。日本各地のワイナリーをめぐり、世界のワイン産業における日本ワインの意義を示す。

産経新聞 2024/04/14

2024:3./ 349p  
978-4-86578-418-3

¥2,970〔税込〕



### 廃屋の月

野木京子 著  
書肆子午線

庭の片隅で 秋明菊の群れが揺れた アネモネの姉妹 風 花びらがいないまま 花をこぼしていた 楓の若木は異界の夕陽に輝き 遠くの橋の上を歩いているひとの姿が見えた (「庭の片隅で」より) 32篇を収めた詩集。

産経新聞 2024/04/14

2024:3./ 113p  
978-4-908568-41-1

¥2,420〔税込〕



### 方舟を燃やす

角田 光代 著  
新潮社

口さけ女はいなかった。恐怖の大王は来なかった。でも疫病が流行し、今日も戦争は続いている。オカルト、宗教、デマ、噂...。誰もが何かを信じたいこの世界で、信じることを意味を問う長篇小説。『週刊新潮』連載に加筆修正。

産経新聞 2024/04/14、毎日新聞 2024/04/20、読売新聞 2024/04/28

2024:2./ 425p  
978-4-10-434608-0

¥1,980〔税込〕





**奄美でハブを40年研究してきました。**

服部 正策 著  
新潮社

ハブは怖いのか？ ハブはマングースに勝てないのか？ 奄美にある東大の研究施設で40年間働いてきた著者が、生物の楽園を愛情たっぷりに案内する。奄美のオススメ10スポット、奄美の人たちも紹介。

産経新聞 2024/04/21

2024:3./ 221p  
978-4-10-355571-1

¥1,760〔税込〕



**頭上運搬を追って～失われゆく身体技法～(光文社新書 1303)**

三砂ちづる 著  
光文社

日本では失われつつある身体技法「頭上運搬」。沖縄や伊豆諸島ほか日本各地や海外にその記憶と痕跡を訪ね、生活や労働を支えた身体技法と、自らの身体への理解や意識を考察する。

産経新聞 2024/04/21

2024:3./ 252p  
978-4-334-10252-4

¥946〔税込〕



**平安王朝と源平武士～力と血統でつかみ取る適者生存～(ちくま新書 1785)**

桃崎 有一郎 著  
筑摩書房

平安時代の雅な世界は、武士による収奪によって成り立っていて、拡大・縮小を繰り返しながら、源氏と平氏が武士の代表格として確立していった。その背景にある、血の入れ替えと相克の過程を克明に綴る。

産経新聞 2024/04/21

2024:4./ 366p  
978-4-480-07613-7

¥1,320〔税込〕



**アフリカの女～パリに生きた日本人による「装飾をめぐる対話」～**

長者町岬 著  
現代企画室

装飾が思想としての力を失っていなかった時代の象徴、アール・デコ。しかしその流行は10年あまりで終わってしまう。パリでアール・デコの家具店を営んでいた三門次朗は、アメリカに商機を見出すべく旅に出るが...

産経新聞 2024/04/21

2024:1./ 288p  
978-4-7738-2401-8

¥1,485〔税込〕



**「記憶」で読む『鬼滅の刃』**

三村尚央 著  
小鳥遊書房

漫画「鬼滅の刃」では、人間も鬼も自分の過去をしばしば思い出す。記憶研究を専門とする文学研究者が、回想・走馬灯・時間などを鍵に、「細胞の記憶」や「先祖の記憶」など物語独自の概念にも着目しながら読み解く「鬼滅」論。

産経新聞 2024/04/21

2024:2./ 242p  
978-4-86780-038-6

¥2,420〔税込〕





### コタ、お前は落語家になりたいの?(今人舎・子ども大学叢書 1)

豊田寿太郎 著  
今人舎

祖父に林家木久扇、父に林家木久蔵を持つ、いわば落語家一家に生まれた豊田寿太郎、16歳。特殊そうで普通のような生い立ちや日常、家族、趣味、仕事について、小気味いいリズムで語る。

産経新聞 2024/04/21

2024:4./ 159p  
978-4-910658-13-1

¥1,540〔税込〕



9 7 8 4 9 1 0 6 5 8 1 3 1



### 江藤淳はいかに「戦後」と闘ったのか

風元正 著  
中央公論新社

天才的頭脳、喧嘩、結核、そして真実を熱愛する心。反近代的詩人になれぬ近代的散文家、江藤淳。「孤高の批評家」の激動の人生を通して描く戦後日本精神史。『boidマガジン』掲載を加筆し書籍化。

産経新聞 2024/04/28

2024:2./ 283p  
978-4-12-005751-9

¥2,750〔税込〕



9 7 8 4 1 2 0 0 5 7 5 1 9



### 103歳、名言だらけ。な一んちゃって～哲代おばあちゃんの長う生きてきたからわかること～

石井 哲代／中国新聞社 著  
文藝春秋

弱気の虫を退治しながらしなやかに生きる、哲代おばあちゃんの本、第2弾。これまでの人生経験から得た「自分の心に言い聞かせている言葉たち」を紹介。読者の悩み相談にも答える。『中国新聞』連載に書き下ろしを加え書籍化。

産経新聞 2024/04/28

2024:3./ 119p  
978-4-16-391823-5

¥1,430〔税込〕



9 7 8 4 1 6 3 9 1 8 2 3 5



### 嘘つき姫

坂崎 かおる 著  
河出書房新社

19世紀末アメリカ、死を求める魔女が処刑用電気椅子を用いたショーに臨む「ニューヨークの魔女」、子育て体験キットを育てることになった同性カップルの日常「私のつまと、私のはは」など、新鋭が紡ぐ珠玉の9篇を収録。

産経新聞 2024/04/28

2024:3./ 260p  
978-4-309-03178-1

¥1,870〔税込〕



9 7 8 4 3 0 9 0 3 1 7 8 1



### 天気が変えた戦国・近世の城～城好き気象予報士とめぐる名城 37～

久保井 朝美 著  
PHPエディターズ・グループ

寒冷地の屋根には、赤や緑など特徴的な色が多い? 関ヶ原の戦いは「天気」が勝因のひとつ? 日本の風土と城の工夫、天気を味方にした合戦や武将など、日本全国37の城を題材に「天気x城」の新視点を紹介する。

産経新聞 2024/04/28

2024:2./ 159p  
978-4-569-85649-0

¥1,760〔税込〕



9 7 8 4 5 6 9 8 5 6 4 9 0



### BLと中国〜耽美をめぐる社会情勢と魅力〜

周密 著  
ひつじ書房

厳しいメディア規制の環境下でも発展してきた中国 BL をめぐって、人気作品で講じられる適応策や BL・メディア業界に関わる中国の社会情勢を分析する。日本から見た中国 BL の魅力も解説。

産経新聞 2024/04/28

2024:3./ 12p,159p  
978-4-8234-1229-5

¥3,740〔税込〕



### すみせごの贄(角川ホラー文庫 さ 4-7)

澤村伊智 著  
KADOKAWA

ある日、失踪した高級料亭の元料理長。彼の料理教室に通っていた生徒たちや、アシスタントの娘によると、奇妙な“予兆”があったらしく…。『怪と幽』掲載の全 6 編を収録した比嘉姉妹シリーズ短編集第 3 弾。

朝日新聞 2024/04/06

2024:3./ 295p  
978-4-04-113863-2

¥814〔税込〕



### マリーナ〜バルセロナの亡霊たち〜(集英社文庫 サ 4-8)

カルロス・ルイス・サフォン、木村 裕美 著  
集英社

15 歳のオスカルは、荒廃した城館に住む少女マリーナと親しくなる。彼女に導かれ墓地を訪れると、黒い蝶が彫られた墓碑にバラを添える貴婦人の姿が。オスカルとマリーナは後を追うが、その先には霧の都バルセロナの秘密が…。

朝日新聞 2024/04/06

2024:3./ 314p  
978-4-08-760789-5

¥1,100〔税込〕



### 祖母姫、ロンドンへ行く!

榎野 道流 著  
小学館

「イギリスに行きお姫様のような旅をしたい」という祖母と、孫娘が 2 人きりでロンドン旅行へ! 凸凹血縁コンビが過ごした宝石のような日々を描く。『ステキブンゲイ』連載を加筆修正、大幅な書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2024/04/06

2023:4./ 252p  
978-4-09-389113-4

¥1,760〔税込〕



### 推し殺す<1>(バンチコミックス)

タカノンノ 著  
新潮社

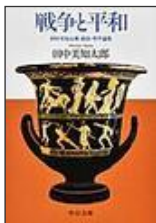
マンガ家・大森卓として、高校生で鮮烈デビューを果たした小松悠は、その後スランブに陥ってしまう。新たな作品を描けず、二度とマンガを描くこともないと思いながら進学した大学で、小松は大森卓を殺すと宣言する女性・三秋縁と出会い……?

朝日新聞 2024/04/06

2024:3./ 176p  
978-4-10-772685-8

¥770〔税込〕





### 戦争と平和～田中美知太郎政治・哲学論集～(中公文庫 た 96-1)

田中美知太郎 著  
中央公論新社

戦争は悪だ。しかし、悪であって、なお正義であり得るのはなぜか。ギリシャ哲学の碩学が、戦中・戦後の政治的問題を考察する。全 17 篇を収録した文庫オリジナル。

朝日新聞 2024/04/06

2024:1./ 380p  
978-4-12-207468-2

¥1,320 [税込]



### 炒飯狙撃手(ハーパーBOOKS M・チ 2・1)

張 國立 著  
ハーパーコリンズ・ジャパン

イタリアの炒飯店で腕を振るう台湾の潜伏工作員・小艾。ローマで標的の東洋人を射殺するが、その後何者かから命を狙われる身に。一方、定年退職を控えた刑事・老伍は、台湾で海軍士官と陸軍士官の連続不審死を追っていたが...

朝日新聞 2024/04/06

2024:3./ 479p  
978-4-596-53907-6

¥1,390 [税込]



### 暗闇の美術～陰鬱でもの悲しく怪奇な作品集～

S・エリザベス 著  
求龍堂

陰鬱さ、物悲しさ、怪奇さをテーマにした作品ばかりを 200 点以上も紹介する、美しくもダークな芸術作品集。歴史的名画から現代アートまで、厳選された「恐ろしいものやグロテスクなもの」が、見るものを強烈に引き込む一冊。

朝日新聞 2024/04/06

2024:1./ 239p  
978-4-7630-2330-8

¥3,960 [税込]



### 科学ジャーナルの成立

アレックス・シザール 著  
名古屋大学出版会

科学ジャーナルはいつ誕生し、いかにしてその地位を確立したのか。19 世紀イギリス・フランスの学協会やメディアを中心に、現代の学術ジャーナルにも通ずる課題の根源を解き明かし、科学のあり方を歴史的に問い直す。

朝日新聞 2024/04/06

2024:3./ 376p  
978-4-8158-1145-7

¥6,380 [税込]



### 恋とか夢とかてんてん<1>

世良田波波 著  
マガジンハウス

夢みて上京して 10 年、さえない毎日をおくるカイちゃん。憧れだった東京が、今は苦しい。そんな 29 歳フリーターのカイちゃんが、人生を変える恋に落ち...。マガジンハウス web サイト『SHURO』連載を書籍化。

朝日新聞 2024/04/06

2024:2./ 159p  
978-4-8387-3264-7

¥1,100 [税込]





### 平岡正明著作集<上>

平岡正明著作集編集委員会 編

平岡 正明 著

月曜社

思想家・平岡正明の全著作から、そのラディカルで多様な思想の全体を見渡すために重要なテキストを精選。上は、「犯罪あるいは革命に関する諸章」「ジャズ宣言」「石原莞爾試論」など最初期～1977年の著作を収録。

朝日新聞 2024/04/06

2024:4./ 531p  
978-4-86503-184-3

¥3,520〔税込〕



### 平岡正明著作集<下>

平岡正明著作集編集委員会 編

平岡 正明 著

月曜社

思想家・平岡正明の全著作から、そのラディカルで多様な思想の全体を見渡すために重要なテキストを精選。下は、「山口百恵は菩薩である」「昭和二十二年歌謡曲論」「落語、新内、冬の虎退治馬退治」「赤色残侠伝」などを収録。

朝日新聞 2024/04/06

2024:3./ 555p  
978-4-86503-185-0

¥3,520〔税込〕



### 明朝体の教室～日本で150年の歴史を持つ明朝体はどのようにデザインされているのか～

鳥海 修 著

Book & Design

明朝体の世界へようこそ！書体デザインの第一人者・鳥海修が、字工房が作った游明朝体を基準にして、本文用明朝体の制作手順から、各書体の比較検討、文字の歴史までわかりやすく解説します。

朝日新聞 2024/04/06

2024:1./ 340p,9p  
978-4-909718-10-5

¥3,520〔税込〕



### うらはぐさ風土記

中島 京子 著

集英社

離婚を機にアメリカから帰国し、東京都下でひとり暮らしを始めた沙希が出会ったのは、この地に縁のある一風変わった人々で…。町なかの四季やおいしいごはんを描く長編小説。『小説すばる』連載を単行本化。

朝日新聞 2024/04/06、東京・中日新聞 2024/04/07、日本経済新聞 2024/04/13

2024:3./ 273p  
978-4-08-771859-1

¥1,870〔税込〕



### なぜ東大は男だらけなのか(集英社新書 1203)

矢口 祐人 著

集英社

「男が8割」の東大。現状を打開するには何が必要なのか。東大のジェンダー史をつまびらかにし、アメリカでの取り組み例も独自に取材。自身の経験や反省もふまえて、日本の大学、そして日本社会のあり方そのものを問いなおす。

朝日新聞 2024/04/06、読売新聞 2024/04/07

2024:2./ 233p  
978-4-08-721303-4

¥1,089〔税込〕





### 経済学オンチのための現代経済学講義

ダイアン・コイル／小坂 恵理 著

筑摩書房

経済学とはそもそもどんな学問なのか。英国を代表するエコノミストが通俗的批判を斥け、現代経済学の展開を手際よく紹介する。その現状とあるべき姿に迫る白熱講義。

朝日新聞 2024/04/06、毎日新聞 2024/04/06

2024:1./ 314p  
978-4-480-86482-6

¥2,860〔税込〕



### 所有論

鷺田 清一 著

講談社

「わたしのもの」とはなんだろうか？ 主体、存在、そして所有。省察を重ねて、西欧近代的思惟が形成してきた「鉄のトライアングル」の拘束から「わたしたち」を解放つ。『群像』連載を加筆・修正し単行本化。

朝日新聞 2024/04/06、毎日新聞 2024/04/06、読売新聞 2024/04/07

2024:1./ 569p  
978-4-06-534272-5

¥3,300〔税込〕



### 大災害の時代～三大震災から考える～(岩波現代文庫 社会 343)

五百旗頭 真 著

岩波書店

東日本大震災の復興構想会議議長を務めた著者が、三大震災(関東、阪神・淡路、東日本大震災)の被害の実態、国と社会の対応、当時の政治判断、復興への取り組みを比較・検証し、今後起こるかもしれない震災への備えを示す。

朝日新聞 2024/04/13

2023:8./ 394p  
978-4-00-603343-9

¥1,573〔税込〕



### 日米戦争と戦後日本(講談社学術文庫)

五百旗頭 真 著

講談社

3年の歳月を要した米国による戦後日本再建の見取り図はどう描かれ、それを日本はどう受け止めたか。またそれを通じ、どう変わっていったか。米国の占領政策が戦後日本の歴史に占める意味を鳥瞰する。吉田茂賞受賞作。

朝日新聞 2024/04/13

2005:5./ 296p  
978-4-06-159707-5

¥1,100〔税込〕



### 占領期～首相たちの新日本～(講談社学術文庫)

五百旗頭 真 著

講談社

戦後日本の再生のドラマを、通史的に描くのではなく、5人・6代の首相たち(吉田のみ再度、政権についた)が、何を想い、何を資源として、この地に堕ちた国を支え上げようとしたか。「人とその時代」を6つ重ね合わせるスタイルで描こうとの試みである。

朝日新聞 2024/04/13

2007:7./ 473p  
978-4-06-159825-6

¥1,518〔税込〕





### 大楽必易～わたくしの伊福部昭伝～

片山 杜秀 著  
新潮社

1954年、「ゴジラ」のテーマは日本の映画音楽に革命を起こした。あの旋律が、なぜ幼児の心までも驚嘆にさせるのか？ アジアと西欧を超克した作曲家・伊福部昭の、波乱万丈の91年を直話で辿る評伝。

朝日新聞 2024/04/13

2024:1./ 363p  
978-4-10-339712-0

¥2,970〔税込〕



### 成瀬は信じた道をいく

宮島 未奈 著  
新潮社

知らぬ間に多くの人に影響を与えながら、我が道を突き進む成瀬あかり。幼馴染の島崎が故郷に帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており...!? 「成瀬は天下を取りにいく」の続編。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2024/04/13

2024:1./ 199p  
978-4-10-354952-9

¥1,760〔税込〕



### 八秒で跳べ

坪田 侑也 著  
文藝春秋

春高バレー予選の数日前、バレー部の景は、高校のフェンスを乗り越えようとしていた綾を目撃し、驚いて自転車を倒し足を痛める。翌日の練習試合に臨んだ景は足首靭帯を損傷。準々決勝に出場することになったのは...

朝日新聞 2024/04/13

2024:2./ 335p  
978-4-16-391801-3

¥1,870〔税込〕



### 抑圧のアルゴリズム～検索エンジンは人種主義をいかに強化するか～

サフィヤ・U・ノーブル 著  
明石書店

黒人女性をパルノとして表象し、偏見や差別を拡大させるグーグル検索。アルゴリズムはなぜ人種的・ジェンダー的不平等を再生産し続けるのか。批判的人種理論、情報科学などを横断し、テクノロジーの中立性・客観性を論じる。

朝日新聞 2024/04/13

2024:1./ 341p  
978-4-7503-5686-0

¥3,080〔税込〕



### パレスチナ解放闘争史～1916-2024～

重信 房子 著  
作品社

なぜジェノサイドを止められないのか？ 因縁の歴史を丁寧にさかのぼり、占領と抵抗の歴史を読み解く。獄中で綴った、解放闘争の主体側からの圧政と抵抗のパレスチナ現代史。

朝日新聞 2024/04/13

2024:3./ 466p  
978-4-86793-018-2

¥3,960〔税込〕





### <序文>の戦略～文学作品をめぐる攻防～(講談社選書メチエ 795)

松尾 大 著  
講談社

文学作品の<序文>とは戦いの場である。盗用疑惑に反論するかと思えば、前もって不出来の言い訳をする。修辞学の第一人者が文学を中心に古今の作品を渉猟し、<序文>に仕掛けられた多様な作戦を紹介する。

朝日新聞 2024/04/13、産経新聞 2024/04/28

2024:2./ 300p  
978-4-06-534598-6

¥2,200〔税込〕



### カレー移民の謎～日本を制覇する「インネパ」～(集英社新書ノンフィクション 1208)

室橋 裕和 著  
集英社

日本のいたるところで見かける格安インドカレー店。そのほとんどがネパール人経営で、どの店も同じメニューなのはなぜか? 「インネパ」と呼ばれるこれらの店が日本で増殖していった謎を追ったノンフィクション。

朝日新聞 2024/04/13、読売新聞 2024/04/21、朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 334p  
978-4-08-721308-9

¥1,320〔税込〕



### 流出する日本人～海外移住の光と影～(中公新書 2794)

大石 奈々 著  
中央公論新社

ワーキングホリデーの若者や技術者、リタイア世代など海外に移住する日本人たち。なぜ日本を離れるのか、海外移住にはどんなリスクがあるのか。移住研究の第一人者が、当事者へのインタビューやデータをもとに実態に迫る。

朝日新聞 2024/04/13、日本経済新聞 2024/04/20

2024:3./ 5p,216p  
978-4-12-102794-8

¥924〔税込〕



### パンクの系譜学

川上幸之介 著  
書肆侃侃房

パンクとは常に問い、それについて行動を起こすことだ。労働者階級の若者による現状への怒りからイギリスで生まれたとされるパンク。音楽だけでなく、アート、思想、運動の側面からも「パンク」の根源に迫る。

朝日新聞 2024/04/13、日本経済新聞 2024/04/27、毎日新聞 2024/04/27

2024:3./ 382p  
978-4-86385-610-3

¥2,860〔税込〕



### マーリ・アルメイダの七つの月<上>

シェハン・カルナティラカ 著  
河出書房新社

1990年、内戦下のスリランカ。戦場カメラマンのマーリは内戦を終結させる写真を撮るも何者かに殺され、気がつくと冥界にいた。写真を公表するために彼に与えられた猶予は7回月が昇るまで…。狂乱のゴースト・ストーリー。

朝日新聞 2024/04/13、毎日新聞 2024/04/13

2023:12./ 281p  
978-4-309-20895-4

¥2,970〔税込〕





### マーリ・アルメイダの七つの月<下>

シェハン・カルナティラカ 著

河出書房新社

写真を公表すべく奮闘するマーリの前に立ちはだかる、殺された青年革命家、生者と死者を媒介する隠者、爆破テロで死んだ博士、冥界最凶の邪神。陰謀が錯綜し、三つ巴の内戦は激化していき…。狂乱のゴースト・ストーリー。

朝日新聞 2024/04/13、毎日新聞 2024/04/13

2023:12./ 306p  
978-4-309-20896-1

¥3,080〔税込〕



9 78 4 309 20896 1



### みどりいせき

大田 ステファニー 歎人 著

集英社

このままじゃ不登校んなるなあと思いながら、高2の僕は小学生の時にバッテリーを組んでた一個下の春と再会した。そしたら一瞬にして、僕は怪しい闇バイトに巻き込まれ始めた…。『すばる』掲載を単行本化。

朝日新聞 2024/04/20

2024:2./ 211p  
978-4-08-771861-4

¥1,870〔税込〕



9 78 4 08 771861 4



### ソリッドステート・オーバーライド(ガガガ文庫 ガえ 1-13)

江波 光則 著

小学館

いつかの未来。大陸の国境線は戦争中。兵士は全てロボット。最前線でスクラップ集めをする2体のロボット、マシューとガルシアは、戦場にはいるはずのない「人間」、少女マリアベルを見つけ…。

朝日新聞 2024/04/20

2024:3./ 425p  
978-4-09-453180-0

¥957〔税込〕



9 78 4 09 453180 0



### 夜の人々(新潮文庫 ア-28-1)

エドワード・アンダースン 著

新潮社

終身刑で収監中だった青年ボウイは、囚人仲間2人とともに刑務所を脱獄。銀行を襲うなど犯行を重ねるなか、仲間の遠縁の娘キーチーと出会う。ふたりは惹かれ合っていくが、誤報からボウイは殺人犯として追われることに…。

朝日新聞 2024/04/20

2024:4./ 366p  
978-4-10-240521-5

¥880〔税込〕



9 78 4 10 240521 5



### スター・シェイカー(ハヤカワ文庫 JA 1568)

人間 六度 著

早川書房

人類がテレポート能力に目覚めた近未来。事故で能力を失った赤川勇虎は、違法テレポートを駆使する麻薬密売組織から逃げた少女ナクサと出会う。逃亡の果てに超越的な能力に目覚めた勇虎は、宇宙の根幹に関わる秘密を知り…。

朝日新聞 2024/04/20

2024:3./ 553p  
978-4-15-031568-9

¥1,210〔税込〕



9 78 4 15 031568 9



### ケアリング・デモクラシー～市場、平等、正義～

ジョアン・C・トロント 著

勁草書房

これまでの民主主義論が前提する自律した政治的主体と近代以降のリベラルな個人像を批判。「ケア」を社会の周縁に封じ込めてきたその権力性を問い、誰もが他者に依存せざるをえない存在という平等感の下での社会を構想する。

朝日新聞 2024/04/20

2024:3./ 352p  
978-4-326-30336-6

¥3,740〔税込〕



### 嫉妬論～民主社会に渦巻く情念を解剖する～(光文社新書 1297)

山本圭 著

光文社

なぜ嫉妬という感情を手放すことができないのか。嫉妬感情は、政治や社会生活、とりわけ民主主義とどうかかわっているのか。嫉妬にかんする古今東西の言説を分析しながら「厄介な感情」を掘り下げて考察する。

朝日新聞 2024/04/20

2024:2./ 247p  
978-4-334-10224-1

¥946〔税込〕



### 定食屋「雑」

原田ひ香 著

双葉社

真面目でしっかり者の沙也加。丁寧な暮らしと健康的な手料理で夫を支えていたが、突然、夫から離婚を切り出された。理由を隠す夫の浮気を疑い、頻繁に夫が立ち寄る定食屋「雑」を偵察することに…。『小説推理』掲載を書籍化。

朝日新聞 2024/04/20

2024:3./ 300p  
978-4-575-24727-5

¥1,760〔税込〕



### 憲法9条と安保法制～政府の新たな憲法解釈の検証～

阪田 雅裕 著

有斐閣

2016年3月に施行された一連の安保法制と政府の新しい憲法9条解釈は、集団的自衛権の限定的な容認だけではなく、自衛隊の海外活動の大幅な見直しも含んでいる。元内閣法制局長官が新たな安保法制の法的整合性を検証する。

朝日新聞 2024/04/20

2016:7./ 7p,265p  
978-4-641-22710-1

¥2,860〔税込〕



### 亡国の武器輸出～防衛装備移転三原則は何をもたらすか～

池内 了／青井未帆／杉原浩司 編

合同出版

戦後70年「戦争をしない国」を築き上げてきた日本。ところが「防衛装備移転三原則」により軍需産業強化の政策が進められ、軍産学複合体が動き出している。「武器輸出大国」への進行を食い止めるため何をなすべきかを考える。

朝日新聞 2024/04/20

2017:9./ 247p  
978-4-7726-1307-1

¥1,815〔税込〕





### 日本の武器生産と武器輸出～1874～1962～

額 厚 著  
緑風出版

第一次世界大戦終了の年、現在の防衛産業強化法と相似する「軍需工業動員法」が制定され、日本の武器生産が本格化する。1870年代から1960年代にかけての日本の武器生産と武器輸出、武器移転の歴史事実を追う。

朝日新聞 2024/04/20

2023:12./ 293p  
978-4-8461-2314-7

¥3,300〔税込〕



### 満腹の惑星～誰が飯にありつけるのか～

木村聡 著  
弦書房

難民キャンプ、内戦が続く町、ゴミの町、川が汚染された町…。世界各地の問題を抱える場所で、腹を満たそうと必死に生きる人々の「ご馳走」風景を捉えたドキュメント。

朝日新聞 2024/04/20

2024:3./ 270p  
978-4-86329-282-6

¥2,310〔税込〕



### Mine!～私たちが支配する「所有」のルール～

マイケル・ヘラー／ジェームズ・ザルツマン 著  
早川書房

所有のルールが目に見えない形で選択、行動、ビジネスをいかに支配し、現在の生活にどのような影響を及ぼしているのか。リクライニングシートの攻防から土地争い、戦争まで、法学者コンビが所有権の驚くべき真実を明かす。

朝日新聞 2024/04/20、毎日新聞 2024/04/20

2024:3./ 382p  
978-4-15-210317-8

¥2,310〔税込〕



### 出会いはいつも八月

ガブリエル・ガルシア＝マルケス 著  
新潮社

毎年8月の母の命日にカリブ海の島を訪れる46歳のアナ。アナは島で母の死を癒してくれる一夜限りの男を探し…。ノーベル文学賞作家ガルシア＝マルケスが、認知症によって執筆できなくなる直前まで情熱を注いだ最後の未完作。

朝日新聞 2024/04/26

2024:3./ 122p  
978-4-10-509021-0

¥2,420〔税込〕



### DJ ヒロヒト

高橋 源一郎 著  
新潮社

JRAK、こちらパラオ放送局…。謎のDJのトークが昭和史と文学史と奇想を巧みにリミックスし、ヒロヒトと南方熊楠、森鷗外ら戦前・戦中期の文化人たちとの密かな絆を謳いあげる長篇小説。『新潮』連載に加筆修正。

朝日新聞 2024/04/26、東京・中日新聞 2024/04/28

2024:2./ 645p  
978-4-10-450803-7

¥4,180〔税込〕





## 死の森の犬たち(STAMP BOOKS)

アンソニー・マゴーワン 著

岩波書店

チェルノブイリの原発事故で生き別れになった子犬のゾーヤと飼い主の少女ナターシャ、そしてゾーヤの子ミーシャの運命は？野生のオオカミやクマ、ヤマネコの住む原生林を舞台に、いま、冒険が始まる！新感覚の動物文学。

朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 318p  
978-4-00-116427-5

¥2,200〔税込〕



## 異国の味

稲田 俊輔 著

集英社

日本人、フランス料理あんまり好きじゃない説。南インド料理を支えるマニアの存在。タイ料理ブームがもう来ない理由…。博覧強記の料理人イナダシュンスケによる外国料理エッセイ。『よみタイ』連載を加筆修正。

朝日新聞 2024/04/27

2024:1./ 197p  
978-4-08-788097-7

¥1,650〔税込〕



## ソクラテスから SNS～「言論の自由」全史～

ヤコブ・ムシャンガマ 著

早川書房

古代ギリシアの広場で、奴隷制廃止の戦いの場で、ファシズム前夜の欧州で、SNS全盛のネット空間で…。人類 3000 年の歴史を俯瞰し、言論・出版・表現の自由が果たしてきた役割を追い、その意義を問い直す。

朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 572p  
978-4-15-210315-4

¥5,390〔税込〕



## 時は立ちどまらない～東日本大震災三部作～

山田 太一 著

大和書房

震災から 5 年後、震災の記憶を引きずる男が、亡き娘の面影を追い…。「五年目のひとり」など、東日本大震災を題材にした山田太一の最晩年の戯曲全 3 編を収録。作者の言葉も掲載する。

朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 237p  
978-4-479-54044-1

¥2,420〔税込〕



## 「頭がいい」とはどういうことか～脳科学から考える～(ちくま新書 1787)

毛内 拓 著

筑摩書房

藤井聡太と大谷翔平の共通点は「脳の持久力」。どんな仕組みで頭が良くなるのかを脳科学の観点から解説し、「脳の持久力」に深く関係する脳細胞の働きを紹介。人間の脳と AI の比較、今求められる知性についても考察する。

朝日新聞 2024/04/27

2024:4./ 251p  
978-4-480-07615-1

¥990〔税込〕





### 人生のレールを外れる衝動のみつけかた(ちくまプリマー新書 453)

谷川 嘉浩 著  
筑摩書房

衝動とは何ものなのか。どうすれば見つかるのか。どのようにして衝動を生活に実装するのか。「将来の夢」「やりたいこと」といったテンプレに惑わされないよう自分を忘れるほど夢中になれる「衝動」を探すための道標を示す。

朝日新聞 2024/04/27

2024:4./ 252p  
978-4-480-68482-0

¥990〔税込〕



### グッズとバツズの経済学～循環型社会の基本原則～ 第2版

細田 衛士 著  
東洋経済新報社

需給バランスによって、モノの価格はプラスにもマイナスにもなる。プラスの価格のモノ「グッズ」とマイナスの価格のモノ「バツズ」の存在に焦点を当て、経済学の視点からリサイクルの基本原則を考える。

朝日新聞 2024/04/27

2012:7./ 10p,294p  
978-4-492-31426-5

¥2,970〔税込〕



### 食料危機～パンデミック、バツタ、食品ロス～(PHP新書 1242)

井出 留美 著  
P H P 研究所

深刻な食料危機はなぜ発生しているのか。膨大な情報に基づいて解説し、日本の食料危機の歴史や、食品ロスを防ぐための方法、昆虫食や培養肉への取り組みを語る。ミツバチの減少、バツタの大発生についてのインタビューも収録。

朝日新聞 2024/04/27

2021:1./ 237p  
978-4-569-84830-3

¥1,045〔税込〕



### 文書館のしごと～アーキビストと史料保存～

新井 浩文 著  
吉川弘文館

文書館で地域の歴史資料を守るアーキビスト(文書館専門職員)。文書館勤務の著者が、地域史料の保存・公開などの仕事を解説。現場の視点から今後への展望を提示する。資格取得のテキストにも使える。

朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 284p  
978-4-642-08448-2

¥2,200〔税込〕



### 観光地ぶらり

橋本 倫史 著  
太田出版

わたしとは違う人生を生活している誰かがいる。そんな誰かを想像することは、世界に触れることでありそれこそが「観光」ではないか。道後温泉、竹富島、五島列島など各地の観光地を巡り、日本の近代の歩んできた足跡をたどる。

朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 381p  
978-4-7783-1925-0

¥2,750〔税込〕





### ニコニコハンバーグ

及川賢治・竹内繭子 著  
文溪堂

タケオちゃんの前に運ばれてきた、熱々の大きなハンバーグ。「ふう、ふう、ふう」と息をかけて冷まそうとしますが、突然ハンバーグが立ち上がり、次々とネコネコハンバーグやトラトラハンバーグに姿を変えていき...

朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 32p  
978-4-7999-0527-2

¥1,650 [税込]



### 闇に願いを

クリスティーナ・スートーンヴァット 著  
静山社

色とりどりの光がともる水上都市。刑務所で生まれた少年ポンは、自由を求めて9歳で脱獄し、逃亡生活を始める。そんなポンを追う少女が現れ...。ニューベリー賞候補となった感動のファンタジー。

朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 419p  
978-4-86389-753-3

¥1,980 [税込]



### 変な家

雨穴 著  
飛鳥新社

謎の空間、二重の扉、窓のない子供部屋、この家、何かがおかしい。知人が購入を検討している都内の中古一軒家には「謎の空間」が存在していた。不可解な間取りの真相とは...。YouTubeで人気の不動産ミステリー。

朝日新聞 2024/04/27

2021:7./ 244p  
978-4-86410-845-4

¥1,400 [税込]



### シロツメクサはともだち

鈴木純 著  
ブロンズ新社

わたしたちのこと、ほんとうに、よく知ってる？ 道ばたで咲いているのをよく見かける白い花、シロツメクサ。植物観察家・鈴木純が、その美しさと不思議を紹介する写真絵本。

朝日新聞 2024/04/27

2024:3./ 32p  
978-4-89309-729-3

¥1,540 [税込]



### 未来省

キム・スタンリー・ロビンソン 著  
パーソナルメディア

インドを未曾有の大熱波が襲い、2000万人の犠牲者を出した。喫緊の課題である気候変動に取り組むため国連に組織された、通称「未来省」のトップに就任したメアリーは、人類の存亡をかけ果敢に立ち向かう。近未来 SF 小説。

朝日新聞 2024/04/27

2023:9./ 598p  
978-4-89362-408-6

¥3,300 [税込]





### みんなのお墓

吉村萬壺 著  
徳間書店

裸になる快感を追い求める主婦。夜コンビニに出ることだけが日課の引きこもり男性...。悩みを抱えつつも必死に生きる彼らは、なぜ「内藤家之墓」に引き寄せられてしまうのか。それぞれの「墓参り」のカタチを描く群像劇。

朝日新聞 2024/04/27、東京・中日新聞 2024/04/28

2024:3./ 198p  
978-4-19-865800-7

¥2,090〔税込〕



### 弥生人はどこから来たのか〜最新科学が解明する先史日本〜(歴史文化ライブラリー 587)

藤尾 慎一郎 著  
吉川弘文館

最先端科学が弥生時代のはじまりの状況を解明しつつある。炭素や酸素の同位体を用いた年代測定や核ゲノム解析、レプリカ法などの最新科学と考古学の学際研究により実像に迫り、新知見による弥生時代像を提案する。

東京・中日新聞 2024/04/07

2024:3./ 8p,221p  
978-4-642-05987-9

¥1,870〔税込〕



### spring

恩田 陸 著  
筑摩書房

少年は8歳でバレエに出会い、15歳で海を渡った。同時代に巡り合う者たち、それぞれの情熱がぶつかりあい、交錯する中で彼の肖像が浮かび上がっていく。一人の天才をめぐる長編小説。『ちくま』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2024/04/07、読売新聞 2024/04/14、日本経済新聞 2024/04/27

2024:3./ 437p  
978-4-480-80516-4

¥1,980〔税込〕



### 正カドーム vs.NHK タワー〜幻の巨大建築抗争史〜(新潮選書)

大澤 昭彦 著  
新潮社

日本テレビとNHK。テレビ黎明期から対立してきた二大メディアは、巨大建築で覇権を競う。桁外れの欲望が生み出した、破天荒な「幻の建築計画」を巡る戦後史。

東京・中日新聞 2024/04/14

2024:2./ 319p  
978-4-10-603906-5

¥1,980〔税込〕



### ハリケーンの子

フェルナンダ・メルチョール 著  
早川書房

都市から離れた村で、外界と隔絶していた<魔女>が死んだ。村人から恐れられつつ、秘かに頼られてもいた。魔女は殺された。この村の誰かに...。荒々しくも詩的な言葉で、現代メキシコの村に吹き荒れる暴力に迫る小説。

東京・中日新聞 2024/04/14

2023:12./ 250p  
978-4-15-210290-4

¥3,410〔税込〕





### 『社会の未来』を読む(シュタイナー社会論入門 1)

高橋 巖 著  
春秋社

ナチス台頭前夜、ロシア革命直後の1919年、時代に抗して語られたシュタイナーの貴重な講演「社会の未来」を収録。現代のベーシック・インカム論の源流たる社会思想を今日的視点から読み解く。

東京・中日新聞 2024/04/14

2024:3./ 318p  
978-4-393-32564-3

¥3,960〔税込〕



### あしたのお嬢〜あしたのジョー〜聖地巡り〜(講談社 MOOK)

講談社 編  
山田 一喜 著

講談社

日本漫画の金字塔「あしたのジョー」。進路に悩む女子高生の陽菜が原作の聖地を巡り、成長する物語。ジョーや力石の対戦など、原作の名場面を多数掲載。食べ歩きに便利な地域ガイド付き。データ:2023年8月現在。

東京・中日新聞 2024/04/20

2023:12./ 223p  
978-4-06-533620-5

¥1,980〔税込〕



### 暴力とアディクション

信田さよ子 著  
青土社

依存症、ヤングケアラー、アダルト・チルドレン、DV、母と娘、そして精神医療の現在…。医療とは異なる「援助」は可能なのか。臨床の現場に立ち続けるカウンセラーによる思索と実践の記録。『現代思想』等掲載を加筆・修正。

東京・中日新聞 2024/04/21

2024:2./ 230p  
978-4-7917-7617-7

¥2,200〔税込〕



### 明日、ぼくは店の棚からヘイト本を外せるだろうか

福嶋 聡 著  
dZERO

およそ10年間、「ヘイト本」という現象をめぐる「書店の役割」を自問自答しつつつけてきた著者が、60冊を超える書物から言葉を引きながら、自問自答の軌跡を披歴する。dZERO ホームページ連載を加筆・再構成。

東京・中日新聞 2024/04/21

2024:2./ 444p  
978-4-907623-67-8

¥3,300〔税込〕



### 忘れられない日本人〜民話を語る人たち〜

小野 和子 著  
PIMPQUAKES

民話採訪者・小野和子に「民話」を託したそれぞれの語り手の、厳しくも豊かな生のおもしろさ。果てしない知性を宿した「忘れられない日本人」たちの、生きた姿を伝える。

東京・中日新聞 2024/04/21、朝日新聞 2024/04/27

2024:2./ 319p  
978-4-9911310-1-1

¥3,520〔税込〕





## 子育てのほんとうの原理原則～「もうムリ、助けて、お手上げ」をプリンシプルで解決～

奥田 健次 著

TAC出版

かんしゃく、スマホ中毒、暴力、不登校といった問題をクリアにするには。わが家のルールづくり方、うまい叱り方とダメな叱り方、自立をうながす育て方など、0歳～10代の子育てに大きな効果を発揮する原理・原則を説く。

東京・中日新聞 2024/04/27

2022:6./ 278p  
978-4-300-10187-2

¥1,540〔税込〕



## ハンバーガーとは何か?～歴史、調理技法、ビジネスから読み解くハンバーガーの“本当の姿”～

白根 智彦 著

グラフィック社

国内外のハンバーガーを30年以上研究し続ける著者が、歴史、調理技法、ビジネスの視点からハンバーガーという食べ物を語る。米国だけでなく日本のハンバーガー文化や、グルメバーガーについても徹底解説。

東京・中日新聞 2024/04/27

2024:2./ 223p  
978-4-7661-3831-3

¥1,980〔税込〕



## 日本音楽の構造

中村 明一 著

アルテスパブリッシング

日本音楽はどのような構造を持っているのか。伝統芸能や各地の民謡から、現代のJ-POPまでを、「倍音」「リズムの枠組み」「根源的要素の使用」「間」などを基に分析。日本音楽の根源的な価値に迫る。

東京・中日新聞 2024/04/28

2024:3./ 383p  
978-4-86559-290-0

¥3,850〔税込〕



## ゴールデンカムイ絵から学ぶアイヌ文化(集英社新書 1202)

中川 裕 著

集英社

漫画「ゴールデンカムイ」のアイヌ語監修者が、原作の絵をふんだんに引用しながら物語全体を読み解きつつ、アイヌ文化を解説する。各分野の監修協力者によるコラム、原作者・野田サトルの取材裏話も収録。

読売新聞 2024/04/07

2024:2./ 558p  
978-4-08-721302-7

¥1,650〔税込〕



## おしごとそうだんセンター

ヨシタケ シンスケ 著

集英社

地球に不時着した宇宙人がやってきたのは、風変わりな職業相談所。宇宙人は相談所のスタッフと一緒に、働くことの意味を考え…。「仕事」の意味を問い直し、明日をちょっと明るくする、ヨシタケ版“ハローワーク”ストーリー。

読売新聞 2024/04/07

2024:2./ 117p  
978-4-08-771858-4

¥1,760〔税込〕



続 マッハの恐怖(新潮文庫)

柳田邦男 著

新潮社

読売新聞 2024/04/07

1986:11./ 561p  
978-4-10-124906-3

¥942 [税込]



在日米軍基地～米軍と国連軍、「2つの顔」の80年史～(中公新書 2789)

川名晋史 著

中央公論新社

占領期から朝鮮戦争、安保改定、沖縄返還、冷戦終結、普天間移設問題まで、在日米軍基地と日米関係の軌跡を新発見の史料をふまえて論考。特異な実態を解明し、戦後史を描き直す。

2024:1./ 5p,331p  
978-4-12-102789-4

¥1,210 [税込]



読売新聞 2024/04/07



ものぐさ精神分析 増補新版(中公文庫 き3-7)

岸田秀 著

中央公論新社

日本は黒船来航ショックを病因的精神外傷とする精神分裂病質であると診断した「日本近代を精神分析する」など、歴史、性、自己についての問いに迫る。伊丹十三の解説も収録。橋本治との対談を加えた増補新版。

2024:2./ 417p  
978-4-12-207482-8

¥1,320 [税込]



読売新聞 2024/04/07



美食家ロッシェニ～食通作曲家の愛した料理とワイン～

水谷 彰良 著

春秋社

オペラ作曲家として大成功を収めた後は、美食家として贅を極めた料理やワインに余生を費やしたロッシェニ。美食家(グルメ)としてのロッシェニと彼にまつわるさまざまな逸話や伝説の真相をひもとく。レシピ集も収録。

2024:1./ 324p  
978-4-393-93230-8

¥2,420 [税込]



読売新聞 2024/04/07



ショーケン天才と狂気(祥伝社文庫 お4-17)

大下英治 著

祥伝社

誤解と苦言をものともせず、自由人として生きた昭和の天才、萩原健一。女、仕事、金...彼はなぜ人を惹きつけ、なぜ疎まれたのか。関係者の証言から、その実像と虚像に迫る。

2024:3./ 531p  
978-4-396-35035-2

¥1,188 [税込]



読売新聞 2024/04/07



**民主主義を疑ってみる～自分で考えるための政治思想講義～(ちくま新書 1777)**

梅澤 佑介 著  
筑摩書房

政治思想が「民主政」批判から始まったことに注目しつつ、自由主義や共和主義、社会主義などを取り上げ、それぞれの歴史的展開や要点を整理。民主主義を機能不全から救い出すために、何が必要かを考える。

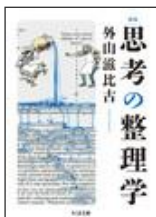
読売新聞 2024/04/07

2024:2./ 366p  
978-4-480-07603-8

¥1,320〔税込〕



9 78 4480 076038



**思考の整理学 新版(ちくま文庫 と 1-11)**

外山 滋比古 著  
筑摩書房

朝飯前の時間が大切、忘却の効用、収斂的思考と拡散的読書…。アイデアを軽やかに離陸させ、思考をのびのびと飛行させる方法を明快に提示する。2009年の東京大学での講義を新収録。ワイド新版も同時刊行。

読売新聞 2024/04/07

2024:2./ 249p  
978-4-480-43912-3

¥693〔税込〕



9 78 4480 439123



**潜水鐘に乗って**

ルーシー・ウッド 著  
東京創元社

48年ぶりに夫と再会するため、旧式の潜水鐘で海にはいって行く老婦人、身体が石になる予兆を感じた女性が過ごす最後の一日…。伝説や伝承がいまなお息づく現代の英国コーンウォール地方を舞台にした12の物語。

読売新聞 2024/04/07

2023:12./ 301p  
978-4-488-01132-1

¥2,970〔税込〕



9 78 4488 011321



**穴持たずども(ロシア語文学のミノタウロスたち No03)**

ユーリー・マムレーエフ 著  
白水社

1960年代のモスクワ郊外。殺人を重ねながら魂や死、彼岸の世界を追求するフォードルがねぐらとする共同住宅には異常者たちが住まっている。神秘主義やエゾテリスムを湛えるソ連地下文学の巨匠の怪作。

読売新聞 2024/04/07

2024:1./ 304p  
978-4-560-09392-4

¥4,180〔税込〕



9 78 4560 093924



**もう一つの「幕末史」(PHP文庫 は9-27)**

半藤 一利 著  
P H P 研究所

「尊皇攘夷」は、幕府を倒す「口実」だったのか？なぜ龍馬はみなに愛され、そして殺されたのか？半藤一利が独自の歴史観を織り交ぜながら、日本のすべてが変わった「幕末」という時代の実像に迫る。

読売新聞 2024/04/07

2024:2./ 286p  
978-4-569-90381-1

¥880〔税込〕



9 78 4569 903811



### 現代アートを続けていたら、いつのまにかマタギの嫁になっていた～マタギ村・山熊田の四季～

大滝 ジュンコ 著  
山と溪谷社

現代アート作家が山と熊と田んぼしかないマタギの村「山熊田」の自然と文化に魅かれて移住を決意し、マタギと結婚。羽越しな布の復活に向けて奮闘し…。新潟県山熊田の四季を綴った移住日記。『望星』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2024/04/07

2024:2./ 255p  
978-4-635-33080-0

¥1,760〔税込〕



9 78 4635 330800



### 高台院(人物叢書 新装版 通巻 323)

福田 千鶴 著  
吉川弘文館

日々戦場の夫を支えつつ、大名の妻としての自分磨きをした豊臣秀吉の第一位の妻、浅野寧。夫の死後は「高台院」を名乗り、豊臣家存続に尽力した。従来の「糟糠の妻」イメージの「北政所」像を見直し、その等身大の姿に迫る。

読売新聞 2024/04/07

2024:2./ 16p,289p  
978-4-642-05316-7

¥2,530〔税込〕



9 78 4642 053167



### 学芸員しか知らない美術館が楽しくなる話

ちいさな美術館の学芸員 著  
産業編集センター

アートは役に立たない？ おすすめの鑑賞方法は？ 展覧会はどうやって作っているの？ 現役学芸員が、美術館を、展覧会を、そして作品そのものを楽しむためのヒントを伝える。note 連載を書籍化。

読売新聞 2024/04/07

2024:1./ 215p  
978-4-86311-392-3

¥1,760〔税込〕



9 78 4863 113923



### 町の本屋という物語～定有堂書店の43年～

三砂 慶明 編  
奈良 敏行 著  
作品社

鳥取の定有堂書店は、いかにして地域の文化拠点となり、日本中から本好きや書店員が足を運ぶ「聖地」となっていったのか。名店の店主が折に触れつづった言葉から、その軌跡が立ち現れる。

読売新聞 2024/04/07、朝日新聞 2024/04/20

2024:3./ 236p  
978-4-86793-013-7

¥2,420〔税込〕



9 78 4867 930137



### 核のプロパガンダ～「原子力」はどのように展示されてきたか～

暮沢 剛巳 著  
平凡社

各地に建てられた原発の PR 施設、原爆の災禍を伝える広島・長崎の平和館、原子力の平和利用を訴えた万博、丸木美術館…。原子力についての様々な展示を紹介し、その展示の在り方について考察する。

読売新聞 2024/04/07、日本経済新聞 2024/04/27

2024:2./ 367p  
978-4-582-74519-1

¥3,740〔税込〕



9 78 4582 745191



### 認知症の人、その本当の気持ち

たっつん 著  
KADOKAWA

認知症の人の「意味がわからない」行動、本人には理由がある。介護歴 18 年の介護福祉士が、認知症の人の世界への寄りそい方を紹介。認知症とはどういう病気なのか、認知症の人の介護をするとはどういうことなのかを綴る。

読売新聞 2024/04/14

2024:2./ 198p  
978-4-04-114300-1

¥1,540〔税込〕



### 福島第一原発事故の「真実」<検証編>(講談社文庫 え 35-2)

NHKメルトダウン取材班 著  
講談社

吉田所長の英断「海水注入」は、ほとんど原子炉に届かなかった、1号機の冷却装置は40年間にわたり“封印”されてきた、2号機の消防注水の失敗が皮肉にもメルトダウンの進行を遅らせた…。福島第一原発事故の真相を明かす。

読売新聞 2024/04/14

2024:2./ 627p  
978-4-06-532818-7

¥1,815〔税込〕



### おれの歌を止めるな〜ジャニーズ問題とエンターテインメントの未来〜

松尾 潔 著  
講談社

芸能と社会的公正を地続きで考えよう。ジャニーズ問題とパレスチナ危機を同じ口で語ろう。ジャニーズ問題への提言を続ける音楽プロデューサーによる「やわらかな抵抗」のすすめ。近田春夫らとの鼎談も収録。

読売新聞 2024/04/14

2024:1./ 253p  
978-4-06-534434-7

¥1,760〔税込〕



### 我が友、スミス(集英社文庫 い 95-1)

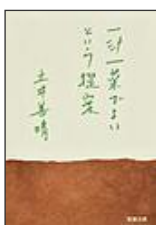
石田 夏穂 著  
集英社

U野は筋トレに励む会社員。自己流のトレーニングをしていたところ、O島からボディビル大会への出場を勧められる。大会で結果を残すには筋肉のみならず「女らしさ」も鍛えなければならず…。

読売新聞 2024/04/14

2024:3./ 175p  
978-4-08-744627-2

¥572〔税込〕



### 一汁一菜でよいという提案(新潮文庫 と-33-1)

土井 善晴 著  
新潮社

日常の食事は、ご飯と具だくさんの味噌汁で充分。あれば漬物を添えましょう。料理研究家・土井善晴が、心身ともに健康であるための「一汁一菜」の実践法を紹介しながら、食文化の変遷、日本人の心について考察する。

読売新聞 2024/04/14

2021:11./ 224p  
978-4-10-103381-5

¥935〔税込〕





### いつかたこぶねになる日(新潮文庫 お-115-1)

小津 夜景 著  
新潮社

杜甫や李賀、白居易といった古典から、新井白石や夏目漱石など日本の漢詩人たちの作品、中国近代の詩人まで、フランス在住の俳人・小津夜景が、漢詩のある日々の暮らしをつづる。

読売新聞 2024/04/14

2023:11./ 254p  
978-4-10-104721-8

¥693〔税込〕



### テックラッシュ戦記～Amazon ロビストが日本を動かした方法～

渡辺弘美 著  
中央公論新社

重要業務を担う“謎の部隊”は何をしているのか？元経産官僚でビッグテックへの転職を先駆けた Amazon の最古参ロビストが、岩盤規制を打ち砕く戦術と哲学を明かす。日本に GAFAM が生まれない理由がわかる一冊。

読売新聞 2024/04/14

2024:1./ 234p  
978-4-12-005729-8

¥1,980〔税込〕



### 科博と科学～地球の宝を守る～(ハヤカワ新書 020)

篠田 謙一 著  
早川書房

創立以来「人類の共通財産」を保存・継承し続けてきた上野・国立科学博物館。人類にとって博物館とは、科学とは何か。分子人類学の第一人者にして現役の国立科学博物館長が語りつくす。クラウドファンディングの舞台裏も公開。

読売新聞 2024/04/14

2024:2./ 211p  
978-4-15-340020-7

¥1,056〔税込〕



### 銀河の片隅で科学夜話～物理学者が語る、すばらしく不思議で美しいこの世界の小さな驚異～

全卓樹 著  
朝日出版社

真空の発見、じゃんけん必勝法と民主主義の数理、反乱を起こす奴隷アリ…。物理学者が、すばらしく不思議で美しい、この世界の小さな驚異について語る。『あさひてらす』『第二編集部ブログ』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2024/04/14

2020:2./ 190p  
978-4-255-01167-7

¥1,760〔税込〕



### 61歳で大学教授やめて、北海道で「へき地のお医者さん」はじめました

香山 リカ 著  
集英社クリエイティブ

なぜ50代も後半戦に入ってから「へき地で医者をやってみよう」と思うようになり、何年もかけて準備したのだろうか。なぜ恐竜の町・穂別を選んだのだろうか…。少女時代も振り返りながら綴る、人生大転換ストーリー。

読売新聞 2024/04/14

2024:2./ 223p  
978-4-420-31103-8

¥1,760〔税込〕





### 絶滅危惧個人商店(ちくま文庫 い52-4)

井上 理津子 著  
筑摩書房

個人商店は「町の宝」だ! 食料品、衣類、質屋、銭湯…。チェーン店やアウトレットに負けずに、個人で商売を続ける店を訪ね歩いた記録。店主たちの歴史を伝える。

読売新聞 2024/04/14

2024:2./ 313p  
978-4-480-43936-9  
¥924〔税込〕



### 造語法で増やすドイツ語ボキャブラリー

森 涼子 著  
白水社

ドイツ語の語彙は、接頭辞や接尾辞などを覚えるとシステマティックに増やせます。単語を構成する部分の意味を整理して学びましょう。

読売新聞 2024/04/14

2020:7./ 143p  
978-4-560-08878-4  
¥2,200〔税込〕



### 教養を深める～人間の「芯」のつくり方～(PHP新書 1386)

森本 あんり 著  
PHP研究所

なぜ教養が必要とされるのか。リベラルアーツは何のために生まれたのか。神学者、東京女子大学学長としてリベラルアーツに向き合い続ける著者が、4人の識者と議論を交わし、その本質に迫る。『Voice』掲載に加筆・修正。

読売新聞 2024/04/14

2024:2./ 210p  
978-4-569-85654-4  
¥1,034〔税込〕



### 夜行列車盛衰史～ブルートレインから歴史を彩った名列車まで～(平凡社新書 1046)

松本 典久 著  
平凡社

あさかぜ、はやぶさ、北斗星、明星、銀河、ムーンライトながら…。1世紀以上の長期にわたり、人々の足として重要な使命を担ってきた「夜行列車」。生い立ちから現状までその盛衰の歴史を振り返る。

読売新聞 2024/04/14

2023:12./ 277p  
978-4-582-86046-7  
¥1,100〔税込〕



### 「戦後日本」とは何だったのか～時期・境界・物語の政治経済史～

松浦 正孝 編  
ミネルヴァ書房

「戦後日本」は戦前・戦争とどうつながり、どう変わったのか。そしてどのように変遷して「今」に至ったのか。政治史・外交史・経済史・政治学・憲法学の研究者らが、かつてない立体的な「戦後日本」像を描き出す。

読売新聞 2024/04/14

2024:2./ 708p  
978-4-623-09716-6  
¥9,350〔税込〕





### 古代ローマ解剖図鑑～建国から滅亡まで超巨大国家のすべて～

エクスナレッジ

古代ローマの始まり、帝国の礎を築いた大英雄カエサル、ローマ市民の服装と髪型、ヴェスヴィオ火山噴火、ポンペイの暮らし…。ローマ建国神話から帝国の滅亡まで、古代ローマの歴史と文化をテーマ別に図解する。

読売新聞 2024/04/14

2024:4./ 159p  
978-4-7678-3279-1

¥1,980〔税込〕



### 死者たちへの捧げもの

安藤礼二 著

青土社

大江健三郎、三島由紀夫、安部公房、中上健次、古井由吉、菊地信義、磯崎新…。彼らが残したものは何か。過去から未来へと、その思想を受けつぎつつ、さらにその先まで見つめようとする作品論にして作家論。

読売新聞 2024/04/14

2023:12./ 278p  
978-4-7917-7607-8

¥2,640〔税込〕



### 分子生物学の夜明け～生命の秘密に挑んだ人たち～<上>

H・F・ジャドソン 著

東京化学同人

読売新聞 2024/04/14

1982:2./ 489p  
978-4-8079-0182-1

¥2,640〔税込〕



### 分子生物学の夜明け～生命の秘密に挑んだ人たち～<下>

H・F・ジャドソン 著

東京化学同人

読売新聞 2024/04/14

1982:2./ 384p  
978-4-8079-0183-8

¥2,420〔税込〕



### インティマシー・コーディネーター～正義の味方じゃないけれど～(論創ノンフィクション 050)

西山ももこ 著

論創社

出演する側と制作する側のあいだに入り、おもに映画やドラマの性的シーンの内容について調整するインティマシー・コーディネーター。その仕事の詳細を自身の半生や将来への展望とともに語る。

読売新聞 2024/04/14

2024:4./ 246p  
978-4-8460-2270-9

¥1,980〔税込〕



### サボテンはすごい!～過酷な環境を生き抜く驚きのしくみ～

堀部 貴紀 著

ベレ出版

なぜトゲが生えているの? なぜ砂漠で生きられるの? サボテンのディープで謎にみちた生態を、日本では数少ないサボテン研究者が余すことなく案内する。サボテン・多肉植物ミニ図鑑も収録。

読売新聞 2024/04/14

2022:8./ 214p  
978-4-86064-699-8

¥2,420〔税込〕





### テクノロジーに利他はあるのか?～RITA MAGAZINE～

未来の人類研究センター 編  
ミシマ社

東京工業大学の中に発足した利他研究会。AI、ロボット、情報科学が劇的に進化する時代に、利他はどうありうるのか。「漏れる」工学」「野生の思考」とテクノロジー」などをテーマに「利他」を論考する。

読売新聞 2024/04/14

2024:2./ 237p  
978-4-911226-00-1

¥2,640〔税込〕



### 世界は経営でできている(講談社現代新書 2734)

岩尾 俊兵 著  
講談社

仕事から家庭、恋愛、勉強、老後、科学、歴史まで、人生がうまくいかないのには理由があった! 一見経営と無関係なことに経営を見出すことで、世界の見方がガラリと変わる「一生モノの思考法」を伝授する。

読売新聞 2024/04/14、朝日新聞 2024/04/20

2024:1./ 216p  
978-4-06-534644-0

¥990〔税込〕



### 夢を叶えるために脳はある～「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす～

池谷 裕二 著  
講談社

人工知能と脳を比較することで浮かび上がる、脳ならではの独特な性能と特徴、脳を研究する意味などを解説する。高校生向けの連続講義をもとに書籍化。「進化しすぎた脳」「単純な脳、複雑な「私」」に続く脳講義シリーズ。

読売新聞 2024/04/21

2024:3./ 669p  
978-4-06-534918-2

¥2,420〔税込〕



### アルプス席の母

早見 和真 著  
小学館

秋山菜々子は、神奈川で看護師をしながら一人息子の航太郎を育てていた。航太郎は甲子園常連校を倒すことを夢見て、大阪の新興校に進学する。菜々子もまた大阪に拠点を移すが…。『産経新聞』大阪版夕刊連載に加筆・改稿。

読売新聞 2024/04/21

2024:3./ 351p  
978-4-09-386713-9

¥1,870〔税込〕



### 希望のゆくえ(新潮文庫 て-12-1)

寺地 はるな 著  
新潮社

突然、弟が失踪した。放火犯の疑いがある女と姿を消したらしい。僕は、彼と交流があった人物に会いに行ったが、弟の印象はそれぞれまるで異なっていて…。書下ろし最終章を追加収録。

読売新聞 2024/04/21

2024:3./ 292p  
978-4-10-104951-9

¥693〔税込〕





「植物の香り」のサイエンス～なぜ心と体が整うのか～(NHK 出版新書 716)

塩田 清二、竹ノ谷 文子 著

NHK出版

ストレスや不安の軽減、脳機能の向上、治りづらい疾患の緩和・予防…。植物の香りはなぜ、心身のコンディションに良い影響を与えるのか。医療現場でも取り入れられている具体的な効能を、最新研究に基づいて解説する。

読売新聞 2024/04/21

2024:3./ 212p  
978-4-14-088716-5

¥1,078〔税込〕



9 784140 887165



茶の湯の冒険～「日日は好日」から広がるしあわせ～(文春文庫 も 27-3)

森下 典子 著

文藝春秋

映画「日日は好日」の原作者・森下典子は茶道指導スタッフとして映画づくりに参加することに。その制作現場は「人生初の事件」ともいべき不思議と驚きに満ちていた。愛おしくも怒濤の日々を綴る。

読売新聞 2024/04/21

2024:3./ 227p  
978-4-16-792193-4

¥825〔税込〕



9 784167 921934



武器化する経済～アメリカはいかにして世界経済を脅しの道具にしたのか～

ヘンリー・ファレル／アブラハム・ニューマン 著

日経B P社

半導体技術からドル決済まで、新しい「武器」で世界を脅す米国、そして反撃する中国、欧州。経済安全保障から世界の真実を読み解く。今後、日本企業が取るべき戦略を示した日本語版解説も収録。

読売新聞 2024/04/21

2024:3./ 343p  
978-4-296-00169-9

¥2,750〔税込〕



9 784296 001699



パリでメシを食う。(幻冬舎文庫)

川内 有緒 著

幻冬舎

読売新聞 2024/04/21

2010:7./ 334p  
978-4-344-41503-4

¥754〔税込〕



9 784344 415034

新版ハンディーカーネギー・ベスト 3冊セット

D.カーネギー 著

創元社

「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」「人を説得する十二原則」など、社会人として身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。多くの人々を励ましつづけてきた名著の文庫版。

読売新聞 2024/04/21

2011:11./ 1056p  
978-4-422-10104-0

¥2,420〔税込〕



9 784422 101040



### 未解決殺人クラブ～市民探偵たちの執念と正義の実録集～

ニコラ・ストウ 著  
大和書房

40年逃げ続けた「黄金州の殺人鬼」を追い詰めた作家。娘を殺したギャングをSNSの偽アカウントで騙して捕らえた母親…。仕事の合間を縫い、あるいは余暇を使い、未解決事件の手がかりを探す市民探偵たちの実録集。

読売新聞 2024/04/21

2023:12./ 335p  
978-4-479-57019-6

¥2,640〔税込〕



### 日本思想史と現在(筑摩選書 0272)

渡辺 浩 著  
筑摩書房

過去にどのようなことがあったために、いま私たちはこのように感じ、思い、考えるのか。日本思想史と現在の関わりについての問題を研究してきた碩学による、「日本」をめぐる長年の思想史探究を集成。

読売新聞 2024/04/21

2024:1./ 323p,8p  
978-4-480-01783-3

¥2,090〔税込〕



### 夜明けを探す少女は(創元推理文庫 Mク 29-1)

ジュリアナ・グッドマン 著  
東京創元社

シカゴの高校に通う黒人の少女ポーの姉が不法侵入の疑いで警官に射殺された。外の安全な世界をポーに教えた姉が、犯罪に手を染めるはずがない。無実を証明するため、ポーは消えた目撃者を探しはじめ…。

読売新聞 2024/04/21

2024:3./ 435p  
978-4-488-22105-8

¥1,386〔税込〕



### 恐るべき緑(エクス・リブリス)

ベンハミン・ラバトゥツ 著  
白水社

塩素ガスの開発者、科学史上初めてブラックホールの存在を示唆した天文学者…。科学の常識を塗り替えた学者たちの奇妙な人生と、それぞれに訪れた発見/啓示の瞬間を描いた、チリの新鋭による奇天烈な科学者列伝。

読売新聞 2024/04/21

2024:2./ 196p  
978-4-560-09090-9

¥2,750〔税込〕



### おみくじの歴史～神仏のお告げはなぜ詩歌なのか～(歴史文化ライブラリー 583)

平野 多恵 著  
吉川弘文館

おみくじはいつから存在し、誰が作り、なぜ和歌や漢詩が書いてあるのか。おみくじに関する文献を収集・分析。謎多きルーツを辿り、日本の社寺の風俗として定着した魅力に迫る。現代の漢詩みくじ、和歌みくじも紹介する。

読売新聞 2024/04/21

2024:1./ 6p,272p  
978-4-642-05983-1

¥2,090〔税込〕





### 刺青～日本の図像～

濱田信義 編

編集室 青人社／谷平理映子 (SPICE design) 著

バイインターナショナル

歌川国芳をはじめ、江戸を代表する浮世絵師たちは、強烈な刺青が全身に彫り込まれた人物を描き、実際に使用される刺青のデザインを手掛けていた。浮世絵の「刺青」に焦点を当て、図版とともに日本のタトゥー文化を解説する。

読売新聞 2024/04/21

2023:12./ 207p  
978-4-7562-5823-6

¥3,080〔税込〕



### 古代出羽国の対蝦夷拠点 弘田柵跡(シリーズ「遺跡を学ぶ」 165)

吉川 耕太郎 著

新泉社

秋田県の水田から隙間なく列をなして発見された杉の角材は、律令国家が築いた対蝦夷政策の拠点であることが判明。この遺跡が史料に記録されたどの城柵にあたるのか、90年以上の論争と半世紀にわたる発掘からその正体に挑む。

読売新聞 2024/04/21

2024:3./ 93p  
978-4-7877-2335-2

¥1,870〔税込〕



### ユーラシア東方の多極共存時代～大モンゴル以前～

古松 崇志 著

名古屋大学出版会

モンゴル帝国による統合以前のユーラシア東方では、複数の国家が並び立っていた。契丹(遼)と北宋との盟約、金(女真)の時代の国際関係に焦点を当て、外交・儀礼・信仰から歴史編纂まで東洋史・中国史像を刷新する。

読売新聞 2024/04/21

2024:2./ 836p  
978-4-8158-1150-1

¥14,300〔税込〕



### 日韓ポピュラー音楽史～歌謡曲から K-POP の時代まで～

金 成玟 著

慶應義塾大学出版会

K-POP アーティストたちの活躍の裏には日韓がおりなした数十年にわたる歴史があった。日本と韓国はいかに自己/他者のイメージを構築し、欲望しあい、「POPの夢」を見たか。ポピュラー音楽を巡る日韓戦後史を描き出す。

読売新聞 2024/04/21、産経新聞 2024/04/28

2024:1./ 308p  
978-4-7664-2935-0

¥2,750〔税込〕



### ケアの倫理～フェミニズムの政治思想～(岩波新書 新赤版 2001)

岡野 八代 著

岩波書店

ひとはケアなしでは生きていけない。ではケアをするのは誰なのか。男性の論理で構築された社会のなかで、女性たちが自らの声で語り、自らの経験から編み出したフェミニズムの政治思想、ケアの倫理を第一人者が詳説する。

読売新聞 2024/04/28

2024:1./ 342p  
978-4-00-432001-2

¥1,364〔税込〕





### 感染症の歴史学(岩波新書 新赤版 2004)

飯島 渉 著

岩波書店

パンデミックは世界を変えたのか。最新の知見をふまえて、天然痘、ペスト、マリアの歴史を振り返り、ポスト・コロナ社会への教訓を探る。パンデミックの記録と記憶を掘り起こし、未来を考えるための疫病史入門。

2024:1./ 228p

978-4-00-432004-3

¥946〔税込〕



読売新聞 2024/04/28

### 大人の流儀

伊集院 静 著

講談社

人を叱らなければならないとき、とてつもない悲しみに包まれたとき…。こんなとき、大人ならどう考え、どう振舞うのだろう。日々の思いをつづったエッセイ集。『週刊現代』2009～2011年連載を抜粋、修正して単行本化。

2011:3./ 189p

978-4-06-216942-4

¥1,026〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### 大人の流儀<7> さよならの力

伊集院 静 著

講談社

去りゆくものに微笑みを。切ない思いも悲しみも、やがては消える。季節は移ろい、そして新しい人とまた出逢う…。日々の思いをつづったエッセイ集、第7弾。『週刊現代』連載を抜粋・修正して単行本化。

2017:2./ 187p

978-4-06-220538-2

¥1,018〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### 機関車先生 新装版(講談社文庫 い 63-28)

伊集院 静 著

講談社

瀬戸内にある葉名島の全校生徒7人の小学校に、臨時の先生がやってくる。体が大きく、やさしいまなざしの先生は幼少期の病気が原因で口がきけなかった。青年教師と生徒たちとの心の交流を描いた涙と感動の名作。

2021:5./ 267p

978-4-06-523176-0

¥737〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### ミチクサ先生<上>(講談社文庫 い 63-29)

伊集院 静 著

講談社

夏目家の「恥かきっ子」として生まれてすぐに里子に出された金之助は、祖父の影響で子どもの頃から寄席や芝居に通う。学校では飛び級するほどの好成绩で、東大予備門に合格。そして正岡子規と出逢い…。夏目漱石の青春を描く。

2023:7./ 408p

978-4-06-531852-2

¥913〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### ミチクサ先生<下>(講談社文庫 い 63-30)

伊集院 静 著  
講談社

夏目金之助は、英語教師として赴任した熊本で妻・鏡子を迎えて、新婚生活を開始。金之助の英国留学中に子規が病死する。帰国後、高浜虚子の依頼で書いた「吾輩は猫である」が大評判となり…。夏目漱石の青春を描く。

読売新聞 2024/04/28

2023:7./ 400p  
978-4-06-531853-9

¥913〔税込〕



### 自分で名付ける(集英社文庫 ま 38-1)

松田 青子 著  
集英社

「結婚」「自然分娩」「母乳」などに関する“違和感”を掬い上げ、「母性」の一言では括れない感情を一つずつ言語化する。風通しのいい育児エッセイ。その後の2年間を綴った「あとがき」を追加し、文庫化。

読売新聞 2024/04/28

2024:2./ 253p  
978-4-08-744621-0

¥682〔税込〕



### いねむり先生(集英社文庫 い 35-7)

伊集院 静 著  
集英社

女優だった妻の死後、アルコール依存、ギャンブルに溺れ、壊れてしまったボクは、「いねむり先生」こと色川武大に出会う。魂と交流と再生を描く自伝的長編小説。

読売新聞 2024/04/28

2013:8./ 436p  
978-4-08-745099-6

¥990〔税込〕



### 帝国妖人伝

伊吹 亜門 著  
小学館

京都・奈良をつなぐ法螺吹峠、ナチス勃興前夜のポツダム、魔都・上海…。那珂川二坊の赴く地に事件あり、妖人あり!『STORY BOX』掲載に書き下ろしを加え単行本化。テキストデータダウンロード用 QR コード付き。

読売新聞 2024/04/28

2024:2./ 251p  
978-4-09-386702-3

¥1,870〔税込〕



### ナポレオン街道～可愛い皇帝との旅～

伊集院 静 著  
小学館

法典を編纂し、道を整備し、ルーヴル美術館や競馬の基礎を築いたナポレオン。伊集院静が稀代の「英雄」を紐解きながら、コルシカ島、パリ、ワテルローなどナポレオンゆかりの地を旅する。『週刊ポスト』連載を加筆修正。

読売新聞 2024/04/28

2023:9./ 395p 図版 8  
枚

978-4-09-389132-5

¥2,200〔税込〕





**生き物の「居場所」はどう決まるか〜攻める、逃げる、生き残るためのすごい知恵〜(中公新書 2788)**

大崎直太 著  
中央公論新社

ウナギは川底の穴、モンシロチョウはキャベツ畑…。生き物の居場所=ニッチは、なぜそこに決まっているのか。彼らの巧妙な生き方から、天敵不在と繁殖干渉という、生態学の核心的概念を紹介する。

読売新聞 2024/04/28

2024:1./ 5p,282p  
978-4-12-102788-7

¥1,155 [税込]



**シン・日本の経営〜悲観バイアスを排す〜(日経プレミアシリーズ 508)**

ウリケ・シェーデ 著  
日経BP社

グローバルな最先端技術の領域で事業を展開する機敏で賢い数多くの日本企業。その顔ぶれ、昭和の経営から令和の経営への転換、イノベーターとしての競争力、事業戦略、変革マネジメントなどを解説する画期的な日本経営論。

読売新聞 2024/04/28

2024:3./ 222p  
978-4-296-11877-9

¥1,210 [税込]



**日本霊異記(河出文庫 古典新訳コレクション い45-3 22)**

河出書房新社

雄略天皇から嵯峨天皇までの因果応報の説話、善悪、霊験、奇蹟、怪異、性愛などを描いた日本最古の仏教説話集「日本霊異記」と、仏道の心の在り方を説く鴨長明編の仏教説話集「発心集」を、詩人・伊藤比呂美の新訳で収録する。

読売新聞 2024/04/28

2024:3./ 227p  
978-4-309-42086-8

¥880 [税込]



**鉄道の音を楽しむ〜音鉄という名の鉄道趣味〜(交通新聞社新書 174)**

片倉佳史 著  
交通新聞社

走行中の電車のモーター音、車掌の放送、発車メロディ、踏切の警報音…。鉄道の「音」に着目し、その魅力に迫る。全国の音の現地での楽しみ方、鉄道メロディの制作をする鉄道音楽家・向谷実らのインタビューを収録。

読売新聞 2024/04/28

2023:12./ 287p  
978-4-330-06623-3

¥990 [税込]



**定点写真で見る東京今昔(光文社新書 1304)**

鷹野晃 著  
光文社

江戸・明治・大正・昭和-。東京はいかに変貌したのか。東京を撮り続けて40年の写真家が、「定点写真」という手法を用いて、破壊と創造の首都を比較紹介する。451点の写真を収録。

読売新聞 2024/04/28

2024:3./ 461p  
978-4-334-10253-1

¥1,870 [税込]





### キッパリ!～たった5分間で自分を変える方法～(幻冬舎文庫)

上大岡 トメ 著  
幻冬舎  
たった5分でキッパリと違うワタシになれるわけがない!?うそだと思ってちょっと試してみてください。ちょっとしたことで確実に自分を変えることができるトメの大発見、60連発です。

2008:8./ 189p  
978-4-344-41187-6  
¥550〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### 金正恩の革命思想～北朝鮮における指導理念の変遷～(筑摩選書 0274)

平井 久志 著  
筑摩書房

2011年末からの金正恩時代における指導理念の変遷を通史的に考察し、北朝鮮の置かれた国内・国際情勢とリンクさせつつ検証する。さらに近年、金正恩が提唱している農村における「思想革命」についても紹介。

2024:2./ 349p  
978-4-480-01793-2  
¥2,090〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### 百年と一日(ちくま文庫 し 49-2)

柴崎 友香 著  
筑摩書房

地下街にはたいてい噴水が数多くあり、その地下の噴水広場は待ち合わせ場所で、何十年前も、数年後も、誰かが誰かを待っていた。人生と時間を描く新感覚物語集。1篇を増補し文庫化。

2024:3./ 230p  
978-4-480-43943-7  
¥792〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### 作家の贅沢すぎる時間～そこで出逢った店々と人々～(双葉文庫 い 54-07)

伊集院 静 著  
双葉社

銀座、浅草、六本木、横浜、京都、大阪…。作家・伊集院静がこよなく愛した名店の数々を、その思い出とともに綴る。一度は行ってみたい「名店」から庶民的なお店まで、全72店舗を掲載する。

2023:12./ 276p  
978-4-575-71499-9  
¥748〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### 日本の寄付を科学する～利他のアカデミア入門～

坂本 治也 著  
明石書店

世界的にみても寄付行動や見知らぬ人への人助け、ボランティア活動が低調とされる国・日本。日本寄付財団「寄付研究センター」を拠点として進めてきた学術研究の知見から、利他にまつわる19の疑問と謎を解き明かす。

2023:12./ 322p  
978-4-7503-5664-8  
¥2,750〔税込〕



読売新聞 2024/04/28



### ネコの気持ちがわかる 50のポイント

加藤由子 著

S Bクリエイティブ

突然かみついてくる、人の言うことを聞かない、狭い場所に入りたがる…。ネコは「いったい何をしてるの?」という不思議な行動をたくさん見せてくれる。行動の理由から、ネコの気持ちを理解する。

読売新聞 2024/04/28

2024:3./ 170p  
978-4-8156-2439-2

¥1,540〔税込〕



### 社長島耕作<1>(講談社漫画文庫 ひ 1-81)

弘兼 憲史 著

講談社

初芝五洋ホールディングスの初代社長に就任した島耕作のもとに、子会社である初芝電子部品が独立を狙って莫大な資金調達を行っているという情報が入る。そこにはかつて、社長候補と呼ばれた男の、意地と誇りがあった。

日本経済新聞 2024/04/06

2015:11./ 304p  
978-4-06-385015-4

¥825〔税込〕



### 11 人いる! 新編集版(小学館文庫)

萩尾望都 著

小学館

宇宙大学受験会場、最終テストは外部との接触を絶たれた宇宙船白号で 53 日間生きのびること。1 チームは 10 人。だが、宇宙船には 11 人いた! 疑心暗鬼のなかでの反目と友情。11 人は果たして合格できるのか?

日本経済新聞 2024/04/06

1994:12./ 323p  
978-4-09-191011-0

¥618〔税込〕



### 江戸の少食思想に学ぶ~水野南北『修身録』解題~(小学館新書 449)

若井 朝彦 著

小学館

食定まれば心定まるべし。少食の者に安らぎの死あるべし。過食は飯を捨つるにも劣るべし。江戸随一の親相家・水野南北が綴った食と命の指南書「修身録」の極意を読み解く。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:2./ 222p  
978-4-09-825449-1

¥1,056〔税込〕



### リプレイ 改版(新潮文庫)

ケン・グリムウッド 著

新潮社

日本経済新聞 2024/04/06

2010:9./ 474p  
978-4-10-232501-8

¥935〔税込〕





### カーストとは何か〜インド「不可触民」の実像〜(中公新書 2787)

鈴木真弥 著  
中央公論新社

インドに根付く社会的な身分制=カースト。数千年の歴史のなかで形成され、結婚・食事・職業などを生まれから規制し、今なお影響を与え続けるカーストについて、歴史から現状まで、事例を通して描く。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:1./ 5p,264p  
978-4-12-102787-0

¥990〔税込〕



### 朝のあかり〜石垣りんエッセイ集〜(中公文庫 い139-1)

石垣りん 著  
中央公論新社

自分の住むところには自分で表札を出すにかぎる。銀行の事務員として働き、生家の家計を支えながら詩作をつづけた著者は、50歳で川辺の1DKを手に入れ…。ひとりを味わう詩人の暮らしぶりが息づくエッセイ集。

日本経済新聞 2024/04/06

2023:2./ 314p  
978-4-12-207318-0

¥990〔税込〕



### 詩の中の風景〜くらしの中によみがえる〜(中公文庫 い139-2)

石垣りん 著  
中央公論新社

かたくなな心に手をさしのべてくれ、暮らしの中で鏡のように光るもの。詩は自分にとって実用のことばという石垣りんが、みずみずしい感性で53人の詩篇を選び、エッセイを添える。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:2./ 265p  
978-4-12-207479-8

¥946〔税込〕



### ここはすべての夜明けまえ

間宮 改衣 著  
早川書房

2123年、九州の山奥に1人住む、おしゃべりが大好きな「わたし」は、人生と家族について振り返るため、家族史を書き始める。それは約100年前、身体が永遠に老化しなくなる手術を受けるときに提案されたことだった…。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:3./ 123p  
978-4-15-210314-7

¥1,430〔税込〕



### 俳優のノート(文春文庫 や30-2)

山崎 努 著  
文藝春秋

演技とは？ 死とは？ 血縁とは？ 戯曲「リア王」を演ずるにあたり、山崎努が綴ったノートは8冊にも及ぶ。身につけた技術に甘んじることなく、思索を深める日々。黒澤明、伊丹十三ら、多彩な交流とともに綴る迫真の記録。

日本経済新聞 2024/04/06

2013:10./ 373p  
978-4-16-783880-5

¥825〔税込〕





### 中国の大戦略～覇権奪取へのロング・ゲーム～

ラッシュ・ドーシ 著

日経BP社

冷戦の終結以降、中国はアメリカを追い落とすための大戦略をグローバルなレベルで展開している。中国共産党の戦略構想の歴史、その戦略が軍事、政治、経済にわたり組み立てられ、実行に移されていった実態を明らかにする。

日本経済新聞 2024/04/06

2023:12./ 12p,565p

978-4-296-11504-4

¥4,400〔税込〕



### 父の革命日誌

チョン・ジア 著

河出書房新社

パルチザンとして闘争に身を捧げた父の突然の死。その葬儀には思いもよらぬ弔問客が次々と訪れる。知らなかった父を知るたびに、歴史の痛みで絡まった糸がほどけてゆく。悲しみと笑いが乱反射する、父と娘の葬儀の3日間。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:2./ 265p

978-4-309-20898-5

¥2,310〔税込〕



### サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>(河出文庫 ハ15-4)

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

アフリカでほぼそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2024/04/06

2023:11./ 352p

978-4-309-46788-7

¥1,089〔税込〕



### サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>(河出文庫 ハ15-5)

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか？ その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2024/04/06

2023:11./ 396p

978-4-309-46789-4

¥1,089〔税込〕



### <共働き・共育て>世代の本音～新しいキャリア観が社会を変える～(光文社新書 1300)

本道敦子、山谷真名、和田みゆき 著

光文社

仕事と子育ての両立、そのための様々な障害にどう対処しているのか。<共働き・共育て>を志向するミレニアル世代にインタビュー調査を行い、事例を多数紹介。企業が取べき対策を明らかにする。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:3./ 263p

978-4-334-10249-4

¥968〔税込〕





### 世界の食はどうか～フードテック、食糧生産、持続可能性～

イェルク・スヌーク／ステイファン・ファン・ロンパイ 著  
原書房

ハイブリッドな市場、食品ロスなど、世界の食に関する様々なテーマを取り上げ、具体的事例とともに現状やトレンドを徹底分析。食を扱う専門家やフードチェーンの当事者が知っておくべき情報とアイデア、ヒントを示す。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:1./ 308p  
978-4-562-07387-0

¥4,180〔税込〕



### 本気になって何が悪い～新鉄客商売～

唐池 恒二 著  
PHP 研究所

世界一の列車「ななつ星」を生み出し、JR九州を株式上場にまで導いたカリスマ経営者・唐池恒二。鉄道経営の常識を破った経営手腕の極意に迫る。デザイナー・水戸岡鋭治との対談も収録。

日本経済新聞 2024/04/06

2017:9./ 367p  
978-4-569-83858-8

¥1,870〔税込〕



### 男の子をダメな大人にしないために、親のぼくができること～「男らしさ」から自由になる子育て～

アーロン・グーヴェイア 著  
平凡社

「有害な男らしさ」が横行する時代の男の子の育て方とは。著者自身が典型的なアメリカ男子として育つ過程で多くの間違いや思い違いをしてきたことをオープンに語りつつ、マッチョイズムから脱却する 36 のヒントを伝える。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:2./ 252p  
978-4-582-83950-0

¥2,860〔税込〕



### 帝国の疫病～植民地主義、奴隷制度、戦争は医学をどう変えたか～

ジム・ダウンス 著  
みすず書房

植民地主義や戦争は疫病を蔓延させた一方で大規模な調査を可能にした。アフリカ人奴隷、植民地の現地民、戦場の兵士…。1756年から1866年にかけて、疫学の発展に寄与した諸要素を可視化し、疫学誕生の歴史を描き出す。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:2./ 299p,50p  
978-4-622-09675-7

¥4,950〔税込〕



### アルプスと海をつなぐ 樺海新道～夢の縦走路を拓き、守り続ける人々～(ヤマケイ文庫)

小野 健／吉田 智彦 著  
山と溪谷社

標高 2418m の雲上の北アルプスから日本海へ。全長 27 キロに及ぶ長大な縦走路を手弁で開拓したのは、一介のサラリーマンとその仲間たちだった…。書き下ろしの新章を加えて復刻。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:3./ 379p  
978-4-635-04949-8

¥1,430〔税込〕





### 陰謀論はなぜ生まれるのか～Q アノンとソーシャルメディア～

マイク・ロスチャイルド 著  
慶應義塾大学出版会

アメリカ連邦議会議事堂襲撃事件はなぜ起こったのか。世界中を震撼させた「Q アノン」現象の根源に分け入り、権威や既存メディアに疑問を抱き、陰謀論を信じる人々の深層に迫るノンフィクション。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:1./ 10p,362p  
978-4-7664-2936-7

¥2,970〔税込〕



### 生と死を分ける翻訳～聖書から機械翻訳まで～

アンナ・アスラニアン 著  
草思社

重大局面における翻訳は、自分の命や世界の命運がかかる、命懸けの行為である。世界の歴史を決定づけた数々の名訳・迷訳エピソードを通して、翻訳・通訳の本質を伝える。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:2./ 321p,13p  
978-4-7942-2697-6

¥2,750〔税込〕



### デジタル時代の恐竜学(インターナショナル新書 138)

河部 壮一郎 著  
集英社インターナショナル

X線 CT スキャナーを用いた恐竜化石の解析、フォトグラメトリと 3D プリンターを用いてイギリスにある恐竜骨格を福井で作製したプロジェクト…。デジタル機器の活用により、大きく様変わりした恐竜研究の最前線を紹介する。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:4./ 222p  
978-4-7976-8138-3

¥990〔税込〕



### FACTFULNESS～10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣～

ハンス・ロスリング／オーラ・ロスリング／アンナ・ロスリング・ロンランド 著  
日経BP社

賢い人ほどとらわれる 10の思い込みから解放されれば、癒され、世界を正しく見るスキルが身につく。データや事実にもとづき、世界を正しく読み解く習慣「ファクトフルネス」を紹介する。見返しに「世界保健チャート」等あり。

日本経済新聞 2024/04/06

2019:1./ 397p  
978-4-8222-8960-7

¥1,980〔税込〕



### 今この世界を生きているあなたのためのサイエンス<1>

リチャード・A・ムラー 著  
楽工社

カリフォルニア大学バークレー校のベスト講義を単行本化。テロリズム、エネルギー問題、原子力など、誰もが無関係ではられない切実な問題を取り上げ、最新科学に基づいて要点を解説する。

日本経済新聞 2024/04/06

2010:9./ 247p  
978-4-903063-45-4

¥1,571〔税込〕





### 今この世界を生きているあなたのためのサイエンス<2>

リチャード・A・ムラー 著

楽工社

カリフォルニア大学バークレー校のベスト講義を単行本化。宇宙空間の利用、地球温暖化をテーマに、現代人に必要な科学とハイテクの知識を、やさしく深く解説する。

日本経済新聞 2024/04/06

2010:9./ 221p  
978-4-903063-46-1

¥1,571〔税込〕



### エネルギー問題入門～カリフォルニア大学バークレー校特別講義～

リチャード・ムラー、二階堂 行彦 著

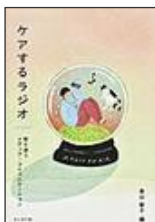
楽工社

米国エネルギー省顧問を務める一流物理学者が、福島原発事故、地球温暖化と気候変動、エネルギー生産性、太陽電池の急成長、バイオ燃料、電気自動車などについて語る。未来の指導者へのアドバイスも掲載。

日本経済新聞 2024/04/06

2014:7./ 396p  
978-4-903063-65-2

¥2,090〔税込〕



### ケアするラジオ～寄り添うメディア・コミュニケーション～

金山 智子／福永 健一／芳賀 美幸／小川 明子／吉富 志津代／久保田 彩乃／小玉 美意子 著

さいはて社

音声によって、人を癒し、励まし、支え、寄り添う。ラジオという親密なメディアについて、ケアの概念のもとに考察し、離島、刑務所、病院、被災地における実践など、多様な事例を紹介する。

日本経済新聞 2024/04/06

2024:3./ 263p  
978-4-9912486-3-4

¥2,860〔税込〕



### 財政と民主主義～人間が信頼し合える社会へ～(岩波新書 新赤版 2007)

神野 直彦 著

岩波書店

新自由主義により格差や貧困、環境破壊が拡大し、人間の生きる場が崩されている。あらゆる決定を市場と為政者に委ねてよいのか。日本の経済と民主主義のありようを根源から問い直し、人間らしく生きられる社会を構想する。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:2./ 264p  
978-4-00-432007-4

¥1,100〔税込〕



### オホーツク核要塞～歴史と衛星画像で読み解くロシアの極東軍事戦略～(朝日新書 943)

小泉悠 著

朝日新聞出版

オホーツク海でも軍備増強を図っているロシア。ウクライナの“裏”で今、何が起きているのか。極東の冷戦史を辿り、入手困難な資料と衛星画像を用いて、現況を綿密に分析し、日露関係の未来をあざやかに示す。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:2./ 378p  
978-4-02-295253-0

¥1,155〔税込〕





**普通という異常～健常発達という病～(講談社現代新書 2692)**

兼本 浩祐 著  
講談社

「いじわるコミュニケーション」という承認欲求、対人希求性の過多、親の「いいね」という魔法…。健常発達を病に診たてて検討し、極端な「普通」がもたらす「しんどさ」から抜け出すためのヒントを提示する。

日本経済新聞 2024/04/13

2023:1./ 252p  
978-4-06-530538-6

¥1,100〔税込〕



**この部屋から東京タワーは永遠に見えない**

麻布競馬場 著  
集英社

丸の内のメーカーに就職後うつになって地元に戻った教師、学生時代に言われた「30まで独身だったら結婚しよw」が忘れられないアラサー女…。虚無と諦念の掌編集。Twitter、note 掲載を単行本化。

日本経済新聞 2024/04/13

2022:9./ 188p  
978-4-08-788083-0

¥1,540〔税込〕



**罪と罰<上> 改版(新潮文庫 ト-1-18)**

ドストエフスキー 著  
新潮社

鋭敏な頭脳をもつ貧しい大学生ラスコーリニコフは、一つの微細な罪悪は百の善行に償われるという理論のもとに、強欲非道な高利貸の老婆を殺害し、その財産を有効に転用しようと企てるが、偶然その場に來合せたその妹まで殺してしまう。

日本経済新聞 2024/04/13

2010:6./ 592p  
978-4-10-201021-1

¥935〔税込〕



**罪と罰<下巻> 改版(新潮文庫 ト-1-19)**

ドストエフスキー 著  
新潮社

不安と恐怖に駆られ、良心の呵責に耐えきれぬラスコーリニコフは、偶然知り合った娼婦ソーニャの自己犠牲に徹した生き方に打たれ、ついに自らを法の手にはゆだねる。

日本経済新聞 2024/04/13

2010:6./ 502p  
978-4-10-201022-8

¥990〔税込〕



**海を覗く**

伊良 刹那 著  
新潮社

高校2年の春、同じクラスの北条の「美」の虜になった美術部の速水は、彼をモデルに肖像画を描きはじめた。画板を挟み向き合うふたりは親しくなるが、夏休みのある出来事が速水の心を打ち砕き…。『新潮』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:3./ 170p  
978-4-10-355441-7

¥1,980〔税込〕





### あなたの迷宮のなかへ～カフカへの失われた愛の手紙～(CREST BOOKS)

マリ＝フィリップ・ジョンシュレー 著

新潮社

カフカの恋人として知られるチェコ人女性ミレナ。失われてしまったミレナからの手紙には何が書かれていたのか。別離後もカフカを慕い続け、強制収容所で絶命した女性の魂を、現代の作家が甦らせる。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:2./ 303p  
978-4-10-590193-6

¥2,640〔税込〕



### 漫画を描く～凛としたヒロインは美しい～

里中満智子 著

中央公論新社

1960年代のデビュー以来、数々のヒット作を世に送り出してきたマンガ家・里中満智子。「すべてのマンガ文化を守りたい」との想いを胸に走り続けてきた75年の半生を振り返る。『日本経済新聞』連載に加筆修正。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:1./ 240p  
978-4-12-005730-4

¥1,760〔税込〕



### みんな水の中～「発達障害」自助グループの文学研究者はどんな世界に棲んでいるか～(シリーズケアをひらく)

横道 誠 著

医学書院

ASD(自閉スペクトラム症)とADHD(注意欠如・多動症)を診断された大学教員が、「詩」「論文的」「小説風」の三種類の様式で、赤裸々に自身の体験世界を伝える。テキストデータ引換券付き。

日本経済新聞 2024/04/13

2021:4./ 265p  
978-4-260-04699-2

¥2,200〔税込〕



### 民主主義と資本主義の危機

マーティン・ウルフ 著

日経BP社

中国ですら敵わないほどの強力な敵、民主主義と資本主義の敵は内側にいる。必要なのは格差解消と中間層の復活だ。『ファイナンシャル・タイムズ』のチーフ・エコノミクス・コメンテーターが、今世界に求められる変革を描く。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:1./ 575p  
978-4-296-11365-1

¥3,850〔税込〕



### 発達障害大全～「脳の個性」について知りたいことすべて～

黒坂 真由子 著

日経BP社

IQは高いのか、低いのか。グレーゾーンとは何か。どんな仕事に就けばいいのか。発達障害について、知りたいこと、知っておいたほうがよさそうなことをまとめたガイド。13人の専門家&当事者へのインタビューと解説を収録。

日本経済新聞 2024/04/13

2023:12./ 585p,6p  
978-4-296-20130-3

¥2,860〔税込〕





### アメリカのアジア戦略史～建国期から21世紀まで～<上>

マイケル・グリーン 著

勁草書房

アメリカのアジア戦略の起源は？大日本帝国の台頭にどう向き合った？日本専門家であり、アメリカ政府高官も務めた著者による、アメリカの大戦略史。冷戦が勃発し、ソ連と対峙するまでのアメリカの大戦略を描き出す。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:1./ 624p  
978-4-326-35190-9

¥4,840〔税込〕



### アメリカのアジア戦略史～建国期から21世紀まで～<下>

マイケル・グリーン 著

勁草書房

冷戦期のアメリカはなぜアジアで迷走した？冷戦後のアメリカはどんな中国を望んだ？日本専門家であり、アメリカ政府高官も務めた著者による、アメリカの大戦略史。米中対立が本格化するまでのアメリカの大戦略を描き出す。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:1./ 528p  
978-4-326-35191-6

¥4,400〔税込〕



### 本は眺めたり触ったりが楽しい(ちくま文庫 あ15-4)

青山 南 著

筑摩書房

積ん読したり、拾い読みしたり、歩いて読んだり、寝転んで読んだり、バスで読んだり。本はどう読んでもいい！名翻訳家でもあるエッセイストによる自由で刺激的な読書論。追記を加えて文庫化。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:2./ 227p,7p  
978-4-480-43932-1

¥880〔税込〕



### 世界をひらく60冊の絵本(平凡社新書 1052)

中川 素子 著

平凡社

様々な表現を持ち、大人まで対象を広げる絵本。おもに2000年以降に出版された絵本から、現代を生きる誰もが共有すべき「自分らしさ」「家族」「ジェンダー」「戦争」など13のテーマで60冊を取り上げ、紹介する。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:2./ 294p  
978-4-582-86052-8

¥1,210〔税込〕



### 量子力学の100年

佐藤文隆 著

青土社

2025年に誕生から1世紀を迎える量子力学。「合意のないまま」いまやあらゆる場所に存在する量子力学を自らの目で見えてきた第一人者が、その不思議と魅力に迫る。『現代思想』連載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:3./ 229p  
978-4-7917-7634-4

¥2,420〔税込〕





### 撤退学宣言～ホモ・サピエンスよ、その名に値するまであと一歩だ～(犀の教室)

堀田新五郎 著  
晶文社

行き過ぎた市場原理主義、環境破壊による地球温暖化、経済格差の拡大、出口の見えない戦争…。近代システムの先に待ち受けるカタストロフィーを回避するために、適切な局面で適切に「撤退」することを提起する。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:2./ 258p  
978-4-7949-7406-8

¥1,980〔税込〕



9 78 4 7 9 4 9 7 4 0 6 8



### 温暖化に負けない生き物たち～気候変動を生き抜いたたかな戦略～

ソーア・ハンソン 著  
白揚社

サケを食べるのをやめたクマ、体のサイズを変えたイカ、すばやく移動する森…。地球温暖化に直面した動植物は、多様な変化を遂げている。新たな角度から、気候変動と生物を読み解く。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:3./ 318p  
978-4-8269-0257-1

¥3,190〔税込〕



9 78 4 8 2 6 9 0 2 5 7 1



### ブルターニュの歌

ル・クレジオ 著  
作品社

毎年家族で夏の数カ月間を過ごしたブルターニュ。水のおい、古城での祭り。そして、戦争と共に5年を過ごしたニース。母と祖母の庇護、まばゆい日々の記憶…。ノーベル文学賞作家が幼少年時代を語った2篇を収録。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:3./ 221p  
978-4-86793-020-5

¥2,970〔税込〕



9 78 4 8 6 7 9 3 0 2 0 5



### みんなの<青春>～思い出語りの50年史～

石岡学 著  
生きのびるブックス

高度経済成長期以降の日本社会で、「青春」はどのように語られ、どのようなイメージをまとってきたのか。太陽族、みうらじゅん、乃木坂46など、様々なジャンルを横断しながら、青春イメージを歴史社会学的に読み解く。

日本経済新聞 2024/04/13

2024:2./ 214p  
978-4-910790-17-6

¥2,310〔税込〕



9 78 4 9 1 0 7 9 0 1 7 6



### 令和元年の人生ゲーム

麻布競馬場 著  
文藝春秋

“意識の高い”若者たちのなかにおいて、ひとり「何もしない」沼田くん。彼はなぜ、22歳にして窓際族を決め込んでいるのか？ 自分の可能性を知りすぎてしまった「賢すぎる」若者たちを描く。『別冊文藝春秋』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2024/04/13、毎日新聞 2024/04/13

2024:2./ 207p  
978-4-16-391808-2

¥1,650〔税込〕



9 78 4 1 6 3 9 1 8 0 8 2



### パラサイト離婚社会(朝日新書 946)

山田昌弘 著

朝日新聞出版

単身世帯がマジョリティとなる社会になるにもかかわらず、人々の結婚観は半世紀前の昭和からアップデートされていない現実…。親世代の結婚生活が不可能になった離婚社会の正体と課題を、最新の調査データから徹底的に問う。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:2./ 275p  
978-4-02-295256-1

¥990〔税込〕



### ごんぎつね 第2版(日本の童話名作選)

新美 南吉 著

偕成社

兵十が病気の母親のためにとったうなぎを、ふとしたいたずら心から奪ってしまったきつねのごん。ごんのせめてものつぐないは、兵十に伝わらぬまま…。新美南吉の短篇を黒井健が絵本化。

日本経済新聞 2024/04/20

2017:9./ 36p  
978-4-03-963270-8

¥1,540〔税込〕



### 人生は単なる空騒ぎ～言葉の魔法～

鈴木 敏夫 著

KADOKAWA

世界中で愛され続けているジブリ作品のメッセージを伝える、力強い言葉たち。それらは、どうやってうまれたのか。手書きがもつパワーとはなにか。鈴木敏夫の「書」をまとめ、思いを綴る。折り込みページあり。

日本経済新聞 2024/04/20

2017:12./ 207p  
978-4-04-106188-6

¥1,870〔税込〕



### 私、産まなくていいですか(講談社文庫 あ 98-5)

甘糟 りり子 著

講談社

ウェディングプランナーとして働く美春。婚前に、子供はいらないと夫と確認し合ったはずなのに、夫が将来のことを考えたいと言い出し…。「独身夫婦」など、妊娠と出産をめぐる「女性の選択」を問いかける全3編を収録。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:3./ 203p  
978-4-06-535066-9

¥704〔税込〕



### クオリティ国家という戦略～これが日本の生きる道～

大前 研一 著

小学館

巨大経済を誇る「ボリューム国家」に日本が対抗する方法は、小国でも高い国際競争力を持つ「クオリティ国家」になること。21世紀を勝ち抜くために必要な、クオリティ国家の実例を研究し、日本が進むべき進路を提示する。

日本経済新聞 2024/04/20

2013:1./ 213p  
978-4-09-379839-6

¥1,650〔税込〕





**下町ロケット<2> ガウディ計画(小学館文庫 い39-4)**

池井戸 潤 著  
小学館

ロケットのエンジン部品開発で倒産の危機を切り抜けてから数年。町工場・佃製作所は、またしてもピンチに陥っていた。そんな時、社長・佃航平のもとに、多くの心臓病患者を救う医療機器「ガウディ」の開発依頼が持ち込まれ...

日本経済新聞 2024/04/20

2018:7./ 468p  
978-4-09-406536-7

¥792〔税込〕



**花神<上> 改版(新潮文庫)**

司馬 遼太郎 著  
新潮社

周防の村医から一転して官軍総司令官となり、維新の渦中で非業の死をとげた、日本近代兵制の創始者大村益次郎の波瀾の生涯を描く。

日本経済新聞 2024/04/20

2002:6./ 472p  
978-4-10-115217-2

¥825〔税込〕



**花神<中> 改版(新潮文庫)**

司馬 遼太郎 著  
新潮社

日本経済新聞 2024/04/20

1976:9./ 511p  
978-4-10-115218-9

¥935〔税込〕



**花神<下> 改版(新潮文庫)**

司馬 遼太郎 著  
新潮社

日本経済新聞 2024/04/20

2002:3./ 553p  
978-4-10-115219-6

¥935〔税込〕



**城 改版(新潮文庫)**

フランツ・カフカ 著  
新潮社

職業が人間の唯一の存在形式となった現代人の疎外された姿を抉り出す。

日本経済新聞 2024/04/20

2005:1./ 640p  
978-4-10-207102-1

¥1,155〔税込〕



**歌舞伎音楽事始～音を聴く深く観る～**

土田 牧子 著  
NHK出版

歌舞伎音楽のジャンルと特徴、使用楽器、歴史から、「勧進帳」「助六」などの具体的な演目における音楽の使い方や鑑賞ポイントまで解説。演奏家である竹本葵太夫と杵屋巳太郎のインタビューも収載。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:2./ 287p  
978-4-14-081957-9

¥2,970〔税込〕





### 通り過ぎゆく者

コーマック・マッカーシー 著

早川書房

サルベージダイバーのポビーは海中に沈んだ小型飛行機内で9名の死者を確認し、10人目の乗客の存在を推測する。この奇妙な一件の後、徐々に居場所を失った彼は各地を転々とし…。「ステラ・マリス」と対を成す長編。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:3./ 569p  
978-4-15-210309-3

¥4,180 [税込]



### ステラ・マリス

コーマック・マッカーシー 著

早川書房

20歳のアリシアは自ら望んで精神科病棟へ入院する。医師に問われ、彼女は語る。唯一話したくないのは、今この場所に彼女が行き着いた理由である、兄ポビーのこと…。「通り過ぎゆく者」の裏面を描いた対話篇。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:3./ 263p  
978-4-15-210310-9

¥3,080 [税込]



### トラフィッキング・データ～デジタル主権をめぐる米中の攻防～

アン・コカス 著

日経B P社

米中貿易関係研究のエキスパートが、米国のデータガバナンスの歴史と現状を批判的に解説。さらに、中国企業・政府による個人データ搾取の驚くべき実態を多様な分野にわたり解き明かし、情報保護のあり方に警鐘を鳴らす。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:3./ 507p  
978-4-296-11650-8

¥3,850 [税込]



### クリエイティブ都市論～創造性は居心地のよい場所を求める～

リチャード・フロリダ、井口 典夫 著

ダイヤモンド社

クリエイティブ・クラスが主導する経済において、相似形になっていく世界都市の現実と近未来像を提示。また、クリエイティブ・クラスの自己実現の手段である居住地の選び方を、経済分析、性格心理学の知見を使って解説する。

日本経済新聞 2024/04/20

2009:2./ 305p  
978-4-478-00619-1

¥2,640 [税込]



### 闇の中をどこまで高く(海外文学セレクション)

セコイア・ナガマツ 著

東京創元社

未知のパンデミックに襲われ、人々の絆や社会が崩壊しかけた近未来。亡くなった人との短い別れを提供するホテルの従業員、地球を離れて新天地をめざす宇宙移民船…。消えない喪失を抱えながらも懸命に生きる人々を描く長編。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:3./ 315p  
978-4-488-01688-3

¥3,080 [税込]





**CASE 革命～Maas 時代に生き残るクルマ～(日経ビジネス人文庫 な 10-1)**

中西 孝樹 著

日本経済新聞出版社

C=接続、A=自動運転、S=シェアリング&サービス、E=電動化。4つのキーワードがクルマの価値を変える! 日本を代表する自動車アナリストが、2030年を見据えたクルマと自動車産業のリアルな将来像を提示する。

日本経済新聞 2024/04/20

2020:10./ 303p  
978-4-532-19984-5

¥990 [税込]



**平成の教訓～改革と愚策の30年～(PHP新書 1175)**

竹中 平蔵 著

PHP研究所

昭和が「激動の時代」であったなら、平成は「激変の時代」であった。平成改革の立役者が、経済成長率、株価、物価、出生率、貯蓄率など様々な統計の検証・分析や往時の内幕を交えて、平成から汲み取れる教訓を考察する。

日本経済新聞 2024/04/20

2019:3./ 349p  
978-4-569-84204-2

¥990 [税込]



**アメリカは自己啓発本でできている～ベストセラーからひもとく～**

尾崎 俊介 著

平凡社

アメリカンドリーム、スピリチュアル、宗教的熱狂、超健康志向、ポジティブ思考...。建国の父フランクリン「自伝」からはじまる自己啓発書のベストセラーから見る異色のアメリカ論。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:2./ 269p  
978-4-582-83949-4

¥3,080 [税込]



**「まちライブラリー」の研究～「個」が主役になれる社会的資本づくり～**

磯井純充 著

みすず書房

著者が提唱し、個々の人の参画・運営によって全国に千ヶ所以上形成されてきた「まちライブラリー」は、どのように広がってきたのか。運営者・利用者へのアンケート、関係者へのヒアリングから分析、考察する。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:2./ 6p,236p  
978-4-622-09648-1

¥2,860 [税込]



**いのちの選別は どうして起こるのか～ER 緊急救命室から見たアメリカ～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 4-16)**

トーマス・フィッシャー 著

亜紀書房

新型コロナウイルスのパンデミックのさなか、格差のせいで十分なケアを受けられない患者たち。差別と貧困が医療ケアに爪を立てる日常に挑み続けた、あるシカゴ ER 医師の葛藤と前進、憤懣と闘いに満ちた熱きドキュメント。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:1./ 317p  
978-4-7505-1830-5

¥3,080 [税込]





### なぜ男女の賃金に格差があるのか～女性の生き方の経済学～

クラウディア・ゴールドフィン 著  
慶應義塾大学出版会

育児をしながら働き続けるときに、女性の前に立ちはだかるものは何なのか。ジェンダー平等が進んできた現在でも残る男女の賃金格差の構造を、歴史と詳細なデータから解き明かす。

日本経済新聞 2024/04/20

2023:4./ 385p  
978-4-7664-2847-6

¥3,740 [税込]



### うつ病隠された真実～逃れるための本当の方法～

ヨハン・ハリ 著  
作品社

うつ病に苦しんだジャーナリストは、病の真の原因を探し求めた。鍵となるのは、現代に生きる全ての人々が陥っている<絆>の断絶と、その再建だった。うつ病の9つの本当の原因と、克服するための7つの方法を公開する。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:2./ 6p,413p  
978-4-86182-843-0

¥3,520 [税込]



### ウクライナとロシアは情報戦をどう戦っているか～誰もが情報戦の戦闘員～

樋口 敬祐 著  
並木書房

元防衛省情報本部主任分析官が、ロシア・ウクライナ戦争における情報戦の実態を紹介。フェイクニュースに騙されない/騙されにくくなる心構えや具体的な方法も解説する。メルマガ連載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2024/04/20

2024:2./ 314p  
978-4-89063-445-3

¥1,980 [税込]



### 熊楠さん、世界を歩く。～冒険と学問のマンダラへ～

松居 竜五 著  
岩波書店

故郷の和歌山や米英で森と図鑑と生きものに学び、世界を知る「楽しさ」を追い求め続けた南方熊楠。残された豊富な一次資料から「楽しさ」に満ちたその生涯を軽快な文章で再現し、天才・奇才と捉えられがちな熊楠像を覆す評伝。

日本経済新聞 2024/04/27

2024:3./ 226p  
978-4-00-022649-3

¥2,530 [税込]



### アンネの日記 増補新訂版(文春文庫)

アンネ・フランク 著  
文芸春秋

自分用と公開用の二種の日記に父親が削っていた部分を再現した「完全版」に新たに発見された五頁を追加。今明かされる親への思い

日本経済新聞 2024/04/27

2003:4./ 597p  
978-4-16-765133-6

¥1,056 [税込]





### TRILLIONS～<物語>インデックス・ファンド革命～

ロビン・ウィグルスワース 著

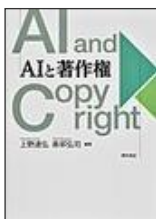
日経BP社

異端者たちが従来の常識を覆し、ウォール街の蔑視に耐えてインデックス・ファンド革命を起こし、投資の世界に創造的破壊を巻き起こした! インデックス・ファンド革命の歴史と今を人間劇場として描くノンフィクション。

日本経済新聞 2024/04/27

2024:2./ 457p  
978-4-296-11511-2

¥3,080 [税込]



### AI と著作権

上野 達弘/奥邨 弘司 編

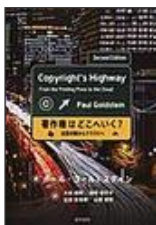
勁草書房

生成AIの急速な発展により、AIと著作権をめぐる法制度の在り方に社会の関心が高まっている。研究者が著作権法に通底する基本思想から徹底考察。現行規定の法解釈から将来を見据えた立法論まで、きめ細やかに議論する。

日本経済新聞 2024/04/27

2024:2./ 8p,345p  
978-4-326-40435-3

¥3,300 [税込]



### 著作権はどこへいく?～活版印刷からクラウドへ～

ポール・ゴールドスタイン 著

勁草書房

急速に進む技術革新の数々に、著作権はどう向き合うべきか。米国の歩んできた紆余曲折の道程は、未来への処方箋となりうるか。軽快な語り口と共に、米国著作権史を振り返り、翻弄され続ける法制度の行く末を占う。

日本経済新聞 2024/04/27

2024:2./ 344p  
978-4-326-45132-6

¥3,300 [税込]



### 落語速記はいかに文学を変えたか

櫻庭 由紀子 著

淡交社

言文一致運動誕生のきっかけとなった演芸速記本。その誕生秘話や発展の歴史、坪内逍遙、夏目漱石ら作家たちとの関わりなどを解説しながら、明治期の落語を現在に残す第一級の史料である口演速記について考察する。

日本経済新聞 2024/04/27

2024:3./ 223p  
978-4-473-04586-7

¥2,090 [税込]



### 避けられる戦争～米中危機が招く破滅的な未来～

ケビン・ラッド 著

東京堂出版

元オーストラリア首相、ケビン・ラッドの半世紀にわたる中国研究の集大成。国家統一の維持、経済的繁栄の確保、軍の「現代化」といった習近平の世界観を読み解くとともに、「米中戦争」回避に向けて具体的シナリオを提示する。

日本経済新聞 2024/04/27

2024:2./ 461p  
978-4-490-21097-2

¥4,950 [税込]





### イノベーション全史(BOW BOOKS 023)

木谷 哲夫 著

中央経済社

イノベーションは、エミュレーション(模倣)とディフュージョン(普及)のサイクルで起こる。抗生物質、シリコンバレー、量子コンピューター…。時代ごとのイノベーションの意味の変遷とメカニズムを解説する。

日本経済新聞 2024/04/27

2024:3./ 386p  
978-4-502-49961-6

¥3,080 [税込]



### ゲノム裁判～ヒト遺伝子は誰のものか～

ジョージ・L・コントレラス 著

みすず書房

「ヒト遺伝子に特許は認められるのか?」 2013年、合衆国最高裁はこの問いに歴史的判断を下した。一私企業がヒト遺伝子利用を独占するという、長く定着していた慣行に初めて異を唱えた裁判のドキュメンタリー。

日本経済新聞 2024/04/27

2024:3./ 544p  
978-4-622-09679-5

¥4,950 [税込]



### 著作権法 第4版

中山 信弘 著

有斐閣

現代人の日常生活に深く関わる著作権法。デジタル技術の発展、情報化の進展などの時代的背景を意識し、著作権法のあるべき姿を追求する体系的解説書。令和2・3年改正を織り込み、令和5年改正も概説した第4版。

日本経済新聞 2024/04/27

2023:10./ 38p,886p  
978-4-641-24368-2

¥7,920 [税込]



### 子ども経済学～一生モノの教養が身につく～(イラスト学問図鑑)

講談社

モノの値段はどう決まる? 景気って何? 銀行のお仕事って? 知っておくと役立つ経済思想や行動経済学の理論などを、短い文章とくすりと笑えるイラストで解説する。社会とお金の仕組みがわかる経済学の知識が盛りだくさん。

毎日新聞 2024/04/06

2024:3./ 99p  
978-4-06-534774-4

¥1,650 [税込]



### ボクの音楽武者修行 改版(新潮文庫)

小澤 征爾 著

新潮社

毎日新聞 2024/04/06

2002:11./ 244p  
978-4-10-122801-3

¥649 [税込]





**ずっと、ずっと帰りを待っていました〜「沖縄戦」指揮官と遺族の往復書簡〜**

浜田 哲二／浜田 律子 著  
新潮社

終戦直後、沖縄に散った兵士の家族に届けられた「詫び状」の送り主は、24歳で歩兵大隊を率いた青年将校だった。大隊の戦いの軌跡を辿りながら、亡くなった部下の人となり、その遺族から届いた手紙を紹介する。

毎日新聞 2024/04/06

2024:2./ 268p  
978-4-10-355551-3

¥1,760〔税込〕



9 784103 555513



**私の作家評伝(中公文庫 こ62-2)**

小島信夫 著  
中央公論新社

近代日本文学の代表的な文豪16人の生涯と作品を、小説家ならではの躍動する批評精神で辿り、作家たちの文学的遺産の核心に迫る。著者のその後の転換点をも示す異色の評伝集。柄谷行人・山崎正和との鼎談も収録。

毎日新聞 2024/04/06

2024:3./ 765p  
978-4-12-207494-1

¥1,980〔税込〕



9 784122 074941



**死なないノウハウ〜独り身の「金欠」から「散骨」まで〜(光文社新書 1299)**

雨宮処凛 著  
光文社

「働けなくなったら」「親の介護が必要になったら」…。この先が不安なアラフィフが専門家に取材し、社会保障を使いこなすコツや各種困り事の相談先など、人生の荒波の中で「死なない」ためのサバイバル術を紹介する。

毎日新聞 2024/04/06

2024:2./ 261p  
978-4-334-10226-5

¥990〔税込〕



9 784334 102265



**街のスタイル〜衣巻省三作品集〜**

山本善行 編  
衣巻省三 著  
国書刊行会

都会的な幻想世界を絶賛されたモダニズム作家・衣巻省三の魅力を伝える作品集。「こわれた街」「プリマドンナ」「落ちたスプーン」「街のスタイル」など、中短篇小説、詩集を収録する。

毎日新聞 2024/04/06

2024:1./ 423p  
978-4-336-07564-2

¥3,850〔税込〕



9 784336 075642



**商店街の復権〜歩いて楽しめるコミュニティ空間〜(ちくま新書 1775)**

広井 良典 著  
筑摩書房

商店街のもつ新たな意味や価値に注目し、国際比較の視点や、まちづくり・交通など公共政策の観点も盛り込み、幅広い叢智を結集。未来の商店街のありようと、再生に向けた具体策を提起する。

毎日新聞 2024/04/06

2024:2./ 376p  
978-4-480-07608-3

¥1,320〔税込〕



9 784480 076083



## 日本バスケの革命と言われた男

安里幸男 著  
双葉社

雑草魂で生まれた下剋上戦術、大学バスケで見えた沖縄の課題、選手たちに本気で向き合った日々、成功するコーチになるための五か条…。沖縄バスケ界のレジェンドが「逆境に立ち向かった半生」と「勝利へのメソッド」を綴る。

毎日新聞 2024/04/06

2023:12./ 221p  
978-4-575-31846-3

¥1,815 [税込]



## 頭のうえを何かが

岡崎乾二郎 著  
ナナロク社

ストローク(脳梗塞)は僕にとって恩寵でした。そして深い教えでした。造形作家・批評家の岡崎乾二郎が、脳梗塞から1ヶ月後、麻痺した右手で描いた40作以上の絵と「リハビリ記」を収録する。

毎日新聞 2024/04/06

2023:12./ 141p  
978-4-86732-023-5

¥2,530 [税込]



## ファンシー絵みやげ天国

山下 メロ 著  
クラーケンラボ

観光地だけで売られたバブル時代の「ファンシー絵みやげ」全484点を写真で紹介しながら、それらが持つ楽しさや時代の空気感を伝える。Webサイト『NeWORLD』連載を書籍化。

毎日新聞 2024/04/06

2024:2./ 219p  
978-4-910315-34-8

¥2,420 [税込]



## 元気じゃないけど、悪くない

青山ゆみこ 著  
ミシマ社

長く続けていると、たいていのことがうまくなる、でも人生は? 50歳の急カーブ、愛猫との別れ、不安障害、酒や家族との関係など、自身の心と身体の変化とケアの実践を綴る。『みんなのミシマガジン』連載に加筆。

毎日新聞 2024/04/06

2024:3./ 243p  
978-4-911226-02-5

¥2,090 [税込]



## 西行〜歌と旅と人生〜(新潮選書)

寺澤 行忠 著  
新潮社

出家の背景、秀歌の創作秘話、漂泊の旅の意味、桜への熱愛、無常を乗り越えた「道」の思想、定家との意外な関係、芭蕉への影響…。西行歌集研究の第一人者が、偉才の知られざる素顔に迫る。

毎日新聞 2024/04/06、読売新聞 2024/04/21

2024:1./ 230p  
978-4-10-603905-8

¥1,760 [税込]





### 陸軍将校たちの戦後史～「陸軍の反省」から「歴史修正主義」への変容～

角田 燎 著  
新曜社

戦争の中核にあった陸軍将校たちは、戦後、親睦互助を目的とした偕行社を設立。痛烈な自己批判も行っていたが、「歴史修正主義」に接近し、会も政治団体としての性格を強めていった。彼らの戦後史とその戦争観の変容に迫る。

毎日新聞 2024/04/06、日本経済新聞 2024/04/20

2024:3./ 252p  
978-4-7885-1839-1

¥3,190〔税込〕



### 無間の鐘

高瀬 乃一 著  
講談社

修験者の扮装で国々を放浪する謎の“十三童子”は、欲に塗れた人間たちを誘う。「願いを叶えたいなら、この鐘を撞け。ただし、撞いた者は来世で底なしの無間地獄に落ちる」と囁き…。『小説現代』掲載に書き下ろしを追加。

毎日新聞 2024/04/07

2024:3./ 266p  
978-4-06-534880-2

¥2,090〔税込〕



### ことばの歳時記 改版(新潮文庫)

金田一 春彦 著  
新潮社

深い学識とユニークな発想で、四季折々のことばの背後にひろがる日本人の生活と感情、歴史と民俗を広い視野で捉えた異色歳時記。

毎日新聞 2024/04/13

1992:12./ 415p  
978-4-10-121501-3

¥825〔税込〕



### 涙にも国籍はあるのでしょうか～津波で亡くなった外国人をたどって～

三浦 英之 著  
新潮社

東日本大震災での外国人犠牲者数は誰も把握していない。彼らは東北の地で、どのように生きたのか。日常のはかなさと、それでも生きる人間の強さに触れるノンフィクション。『朝日新聞』掲載記事を加筆修正。

毎日新聞 2024/04/13

2024:2./ 189p  
978-4-10-355561-2

¥1,925〔税込〕



### 時代の逆者たち

青木 理 著  
河出書房新社

ロシアによるウクライナ侵攻と、それに手を染めたロシアの政治や社会状況、葛藤が続く日韓関係や安全保障問題…。時代の先端で抗う9人のプロフェッショナルとの対話。『熱風』連載を書籍化。

毎日新聞 2024/04/13

2024:2./ 317p  
978-4-309-23148-8

¥1,980〔税込〕





### 経営中毒～社長はつらい、だから楽しい～

徳谷 智史 著  
P H P 研究所

商品やサービスの失敗、仲間の裏切り、資金ショート、事業の乗っ取り…。企業経営において「実際に起こる」さまざまな問題について、ありのままの社長の視点から解説する。Podcast 番組をもとに大幅に加筆。

毎日新聞 2024/04/13

2024:2./ 366p  
978-4-569-85642-1

¥2,090 [税込]



### 台湾有事と日本の危機～習近平の「新型統一戦争」シナリオ～(PHP 新書 1387)

峯村 健司 著  
P H P 研究所

台湾、日本、米国に対し、戦争状態には至らないグレーゾーンで軍事的圧力を加え、強制的に台湾併合を進める中国。自衛隊を中心に日本政府、自治体が抱える課題を抽出し、習近平の台湾統一シナリオを中国目線から炙り出す。

毎日新聞 2024/04/13

2024:2./ 258p  
978-4-569-85653-7

¥1,188 [税込]



### 「発見」された朝鮮通信使～在日朝鮮人歴史家・辛基秀の歴史実践と戦後日本～

山口 祐香 著  
法律文化社

朝鮮通信使はいかに見出されたのか。在日朝鮮人映像作家・民族運動家の辛基秀の実践を軸に、1970年代以降の日本において、民族差別克服と日韓友好の象徴として朝鮮通信使が「発見」された過程を描く。

毎日新聞 2024/04/13

2024:3./ 308p  
978-4-589-04322-1

¥6,380 [税込]



### じゃじゃ馬娘、ジョニ・ミッチェル伝

デヴィッド・ヤフィ 著  
亜紀書房

音楽でも恋愛でも、誰にも何にも支配されない。長年アメリカの音楽シーンに燦然と輝く、孤高のシンガーソングライター、ジョニ・ミッチェル。その半世紀以上にわたる活動を、インタビューとともにたどる評伝。

毎日新聞 2024/04/13

2024:2./ 462p,27p  
978-4-7505-1831-2

¥4,950 [税込]



### 井坂洋子詩集(ハルキ文庫 い28-1)

井坂 洋子 著  
角川春樹事務所

雨に濡れると アイロンの匂いがして 湯気のこもるジャンパースカートの 箱襷に振れた 糸くずも生真面目に整列する(「朝礼」より) 繊細に鮮やかに、そして鋭く生を描き出す、選りすぐりの全 69 篇を収録する詩集。

毎日新聞 2024/04/13

2024:3./ 221p  
978-4-7584-4625-9

¥902 [税込]





## スリーパー・エージェント～潜伏工作員～

アン・ハーグドーン 著

作品社

米国による広島・長崎への投下からわずか4年で原爆を開発したソ連。その貢献者は、米国生まれの赤軍スパイ、コードネーム=<デルマー>だった。米国陸軍に入隊し、核開発計画施設に潜入した<原爆スパイ>の秘密に迫る。

毎日新聞 2024/04/13

2024:1./ 277p  
978-4-86793-005-2

¥2,970〔税込〕



9 78 48 67 93 00 52



## うえをむいてあるこう～ジャイアント馬場、世界をわかせた最初のショーヘイ～

くすのき しげのり 著

303 BOOKS

1938年、三条市に生まれた体の大きな少年は、やがてプロ野球選手となり、挫折を乗り越え、アメリカを熱狂させるプロレスラーになった…。日本に希望を与え続けたジャイアント馬場の生涯を描いた絵本。貴重な写真も収録。

毎日新聞 2024/04/13

2024:2./ 40p  
978-4-909926-30-2

¥1,980〔税込〕



9 78 49 09 92 63 02



## 死なれちゃったあとで

前田隆弘 著

中央公論新社

器用に生きていた後輩の自死、絶叫の葬式、残高3万円で死んだ父…。忘れられない喪失の記憶を炙り出すエッセイ集。2023年7月に行われた、岩井秀人との対談も収録する。

毎日新聞 2024/04/13、産経新聞 2024/04/14

2024:3./ 251p  
978-4-12-005767-0

¥1,870〔税込〕



9 78 41 20 05 76 70



## レディ・ムラサキのティーパーティー～らせん訳「源氏物語」～

毬矢 まりえ／森山 恵 著

講談社

源氏物語は、なぜ「世界文学」になったのか？百年前にアーサー・ウェイリーが英訳した「源氏物語」を現代の日本語に再翻訳(=らせん訳)した著者らが、時空を超えた物語の秘密と魅力を解きあかす。『群像』連載を単行本化。

毎日新聞 2024/04/13、産経新聞 2024/04/21

2024:2./ 317p  
978-4-06-534595-5

¥2,640〔税込〕



9 78 40 65 34 59 55



## 家族解散まで千キロメートル

浅倉 秋成 著

KADOKAWA

古い実家を取り壊して、家族ばらばらに転居することになった喜佐周。家族総出で片づけをしていると<青森の神社から盗まれたご神体>にそっくりのものが見つかる。父の犯行を確信する一同は青森へ返却に向かうが…。

毎日新聞 2024/04/13、読売新聞 2024/04/28

2024:3./ 316p  
978-4-04-114564-7

¥1,870〔税込〕



9 78 40 41 14 56 47



### 川のある街

江國香織 著  
朝日新聞出版

ひとが暮らすところには、いつも川が流れている。人生の3つの<時間>を川の流れる3つの<場所>から描く、生きとし生けるものを温かく包みこむ慈愛の物語。『小説トリッパー』掲載を単行本化。

毎日新聞 2024/04/20

2024:2./ 229p  
978-4-02-251961-0

¥1,870 [税込]



### スプートニクの恋人(講談社文庫)

村上 春樹 著  
講談社

22歳の春にすみれは生まれて初めて恋に落ちた。広大な平原をまっすぐ突き進む竜巻のような激しい恋だった。それは行く手のかたちあるものを残らずなぎ倒し、片端から空に巻き上げ、理不尽に引きちぎり、完膚なきまでに叩きつぶした。

毎日新聞 2024/04/20

2001:4./ 328p  
978-4-06-273129-4

¥748 [税込]



### プレゼントでできている

矢部 太郎 著  
新潮社

もらった瞬間、もらったものは、ものじゃなくなるような気がします。もう会えない誰かや目に見えない何かとも「プレゼント」でつながれる。深くてほっこりするコミックエッセイ。『週刊新潮』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2024/04/20

2024:3./ 125p  
978-4-10-351215-8

¥1,210 [税込]



### マッカーサー～20世紀アメリカ最高の軍司令官なのか～(中公選書 144)

リチャード・B・フランク 著  
中央公論新社

敗戦後の日本に、連合国軍最高司令官として降り立ったマッカーサーはどんな人物なのか。「天才的な軍人」でもなく、「中身のない大法螺吹き」でもない、生身の人間としての像を浮かび上がらせる。

毎日新聞 2024/04/20

2024:1./ 16p,333p  
978-4-12-110145-7

¥2,530 [税込]



### 本屋のない人生なんて

三宅玲子 著  
光文社

ネット書店で本を取り寄せる習慣が私たちの生活に定着するなか、それでも新しい「本屋」を開く店主たちがいる。北海道から九州まで、全国の気骨ある書店を訪ね歩いたノンフィクション。『ニッポンドットコム』連載を改稿。

毎日新聞 2024/04/20

2024:3./ 337p  
978-4-334-10264-7

¥2,090 [税込]





### 憶～藤沢周連作短編集～

藤沢周 著  
春陽堂書店

過去の記憶をたどりながら、現在と交錯する私小説風作品集。故郷・新潟を舞台に、主人公の幼い頃の「過去」と感染症がはびこる「現在」が交錯する。全 10 編を収録。『Web 新小説』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2024/04/20

2024:2./ 233p  
978-4-394-90473-1  
¥1,980〔税込〕



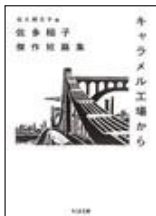
### 人が人を罰するという事～自由と責任の哲学入門～(ちくま新書 1768)

山口 尚 著  
筑摩書房

人びとが互いを責め、罰することに意味はあるのか。抑止、応報、追放、供犠といった刑罰の歴史的意味を解きほぐし、自由否定論、責任虚構論の盲点を突き、<人間として生きること>を根底から問う。

毎日新聞 2024/04/20

2023:12./ 270p  
978-4-480-07595-6  
¥1,012〔税込〕



### キャラメル工場から～佐多稲子傑作短篇集～(ちくま文庫 さ 55-1)

佐多 稲子／佐久間 文子 著  
筑摩書房

労働、地下活動、戦争、東京や長崎の町、懐かしい友人たちについて自らの経験をもとに書き続け、昭和を駆け抜けた作家、佐多稲子。その最良の 16 篇を厳選した文庫オリジナルの短篇選集。

毎日新聞 2024/04/20

2024:3./ 286p  
978-4-480-43940-6  
¥968〔税込〕



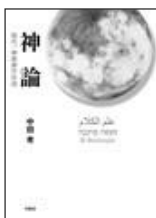
### 詳解『源氏物語』文物図典～有職故実で見る王朝の世界～

八條 忠基 著  
平凡社

「源氏物語」五十四帖に登場する貴族たちの衣食住や年中行事、通過儀礼、そして四季折々の植物や自然現象などを、「有職故実」の知識を深めて身近に理解するための総合的図典。

毎日新聞 2024/04/20

2024:1./ 439p  
978-4-582-83947-0  
¥5,280〔税込〕



### 神論～現代一神教神学序説～

中田 考 著  
作品社

私たちにとって神とは？ 神にとって人間とは？ イスラーム学者が、イスラームの枠をこえて、キリスト教神学、宗教学、ヴィトゲンシュタインなどの哲学、言語論、西欧現代思想、現代物理学を参照して、人類の課題にこたえる。

毎日新聞 2024/04/20

2024:2./ 369p  
978-4-86793-001-4  
¥3,960〔税込〕





### ウクライナ侵略を考える～「大国」の視線を超えて～

加藤直樹 著  
あけび書房

2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵略。「反侵略」の立場から侵攻を相対化する議論を批判し、歴史的主体としてのウクライナを考え、二重基準を超えた「世界的公共性」への途を探る。

毎日新聞 2024/04/20

2024:4./ 347p  
978-4-87154-255-5

¥2,200〔税込〕



### 氷湖いま～鈴木総史句集～

鈴木総史／鈴木総史 著  
ふらんす堂

すこしつめたき五月の石を対岸へ ぱらぱらと風あそびだす野焼かな わたつみの光なら欲し葡萄棚 白梅や水脈はかがやきつつ途絶え メロン食ふたちまち湖を作りつつ 第1句集。

毎日新聞 2024/04/22

2024:3./ 168p  
978-4-7814-1623-6

¥2,750〔税込〕



### 短歌うたことば辞典

梅内 美華子 著  
NHK出版

「うたことば」とは和歌・短歌に詠みこまれた言葉のこと。伝統的な古語から時代を表す新語まで、印象的な働きをする「うたことば」を集め、詠みこまれた名歌とともに解説する。言い換えに役立ち表現の幅を広げる辞典。

毎日新聞 2024/04/22、読売新聞 2024/04/28

2024:3./ 316p  
978-4-14-016287-3

¥3,520〔税込〕



### 水曜日のクルト 新版(偕成社文庫)

大井 三重子 著  
偕成社

水色のオーバーを着た男の子を見かけたぼくに、つぎつぎおこるふしぎなできごとをえがく表題作ほか、かくれた名作「めもあある美術館」など全6編を収録した、珠玉の童話集。

毎日新聞 2024/04/27

2009:5./ 178p  
978-4-03-551180-9

¥770〔税込〕



### THE PURPLE ROAD～練習生時代の思い出の場所から、ミュージックビデオの撮影地まで～

イ・ソンジョン／チョン・サンミ／キム・ウナ／パク・ソユン／カン・ウンヨン／ユン・ジェナ 著

KADOKAWA

BTSの聖地ガイド。練習生時代に通った食堂からMV・コンテンツの撮影地まで、ソウル、釜山、大邱、済州など、BTSのメンバーたちが訪れた韓国内のスポット130カ所をオールカラーで紹介。データ:2023年9月現在。

毎日新聞 2024/04/27

2024:3./ 131p  
978-4-04-683299-3

¥3,300〔税込〕





### テクノ・リバタリアン～世界を変える唯一の思想～(文春新書 1446)

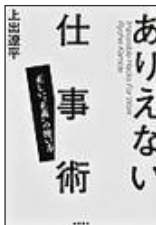
橘 玲 著  
文藝春秋

とてつもない富を手にしたとてつもない賢い IT 成功者たちは、既存の民主主義を超越する新たな政治思想を模索している。彼らはいかに世界を変えるのか。最先端思想の全貌を徹底解説する。『文藝春秋』掲載を加筆し新書化。

毎日新聞 2024/04/27

2024:3./ 261p  
978-4-16-661446-2

¥990〔税込〕



### ありえない仕事術～正しい“正義”の使い方～

上出遼平 著  
徳間書店

「ハイパーハードボイルドグルメリポート」仕掛け人による、既存の様式を破壊する新ビジネス論。独立からメンタル、企画の立て方、マスコミ、ドキュメンタリーまで、その仕事術を公開する。

毎日新聞 2024/04/27

2024:2./ 326p  
978-4-19-865743-7

¥1,650〔税込〕



### 裁判官三淵嘉子の生涯(潮文庫 い-13)

伊多波 碧 著  
潮出版社

大学卒業後、日本初の女性弁護士となるが、戦争ですべてを失い、34歳で裁判官に就任。各地の家庭裁判所で社会的弱者に目を向け、精力的に活動した…。遅くしなやかに生きた女性法曹の先駆者・三淵嘉子の生涯を描く。

毎日新聞 2024/04/27

2024:3./ 267p  
978-4-267-02415-3

¥880〔税込〕



### 運び屋として生きる～モロッコ・スペイン領セウタの国家管理下の「密輸」～

石灘 早紀 著  
白水社

スペイン領セウタとモロッコの国境地帯で行われていた「密輸」。インフォーマルな越境貿易者の抱える困難な現実に誠実に向き合いながら、人道的規制の矛盾、貧困、暴力、ジェンダーをめぐる構造的問題を解き明かす。

毎日新聞 2024/04/27

2024:3./ 232p,24p  
978-4-560-09278-1

¥3,080〔税込〕



### 日本近代史 12の謎を解く～伝承と美談の狭間で～

秦 郁彦 著  
PHP研究所

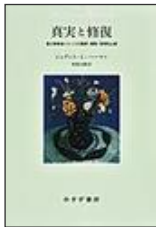
会津戦争で大山巖を狙撃したのは山本八重か？ ルーズベルト大統領が怖れた日本の「百年計画」とは？ 歴史家生活 70年の著者が、どうしても解いておきたい日本近代史の謎に挑む。

毎日新聞 2024/04/27

2024:3./ 359p  
978-4-569-85672-8

¥2,640〔税込〕





### 真実と修復～暴力被害者にとっての謝罪・補償・再発防止策～

ジュディス・L・ハーマン 著

みすず書房

暴力被害者は何を求めているのか。加害者の謝罪やアカウンタビリティはどうあるべきか。補償や再発防止の具体策は、司法のあり方は-。暴力を生き延びた人にとっての正義を考える。

毎日新聞 2024/04/27

2024:3./ 234p,21p  
978-4-622-09690-0

¥3,740〔税込〕



### 検証川中島の戦い(歴史文化ライブラリー 588)

村石 正行 著

吉川弘文館

武田信玄・上杉謙信が幾度も対戦し、数々の伝説を生んだ川中島の戦い。10年以上におよぶ北信濃をめぐる相剋は、在地武士や東国大名、幕府・朝廷をも巻き込み複雑に展開する。諸勢力の動向を複眼で追い、戦いの全貌に迫る。

毎日新聞 2024/04/27

2024:3./ 6p,228p  
978-4-642-05988-6

¥1,870〔税込〕



### リベラルアーツと民主主義

石井 洋二郎 編

宇野 重規、重田 園江、國分 功一郎 著

水声社

民主主義にとってリベラルアーツ教育は必要だろうか。民主主義の担い手たる「良き市民」を育成するために大学がすべきことは何か。2023年6月開催のオンラインシンポジウムの記録と関連する識者のエッセイを収録。

毎日新聞 2024/04/27

2024:2./ 282p  
978-4-8010-0790-1

¥2,750〔税込〕



### 彰義隊、敗れて末のたいこもち～明治の名物幫間、松廼家露八の生涯～

目時 美穂 著

文学通信

武士から男芸者に転身した松廼家露八の本格評伝。幫間として生きながら、戦死した戦友たちの追悼に生涯心をくばり、死後は戦友たちの墓のある円通寺に亡骸をうずめることを望んだ、旧幕臣の内面を探る。

毎日新聞 2024/04/27

2023:11./ 375p  
978-4-86766-020-1

¥2,750〔税込〕



### 地下で生きた男

上岡 伸雄 編

リチャード・ライト 著

作品社

無実の殺人の罪を着せられて警察の拷問を受け、地下の世界に逃げ込んだ男の奇妙で理不尽な体験を描く。20世紀黒人文学の先駆者として高い評価を受ける著者の充実期の長篇小説。ほか、重要な中短篇5作品も併録する。

毎日新聞 2024/04/27

2024:2./ 379p  
978-4-86793-019-9

¥3,960〔税込〕





外征と公議～国際環境のなかの明治六年政変～

大島 明子 著

有志舎

征韓・征台の主導を画策する薩土肥勢力と、薩長出身者のうちの「開化」勢力が激突した明治六年政変(征韓論政変)。その実相を、当時の国際環境と国内情勢の両面から明らかにする。

2024:2./ 6p,376p  
978-4-908672-71-2

¥3,740 [税込]



毎日新聞 2024/04/27